

令和3年度

東御市保健衛生

東御市健康福祉部健康保健課

東御市健康づくり宣言

東御市の豊かな自然環境のなかで、健康でこころ豊かに安心して暮らすことは、私たちみんなの願いです。

自らの健康は自らつくることを基本に、市民が手を携えて、健やかに育ち健康を守る活動に取り組む必要があります。

ここに市民の総意により、元気を発信する健康長寿のまちを目指すとともに、次のことを提唱し、東御市は、健康づくりに邁進することを宣言します。

- 1 食生活を見直し、運動に親しみ、元気な身体をつくります。
- 1 禁煙や生活習慣など、家族みんなで健康について話し合います。
- 1 健康診査を毎年受け、自分の身体の健康を考えます。
- 1 仕事や家事の手を休め、こころのゆとりをつくります。
- 1 豊かな自然と共生し、みんなが住みよい環境をつくります。

平成19年11月22日

目 次

<保健統計>

○ 健康保健課事業内容	… 1
○ 人口動態・年齢別人口	… 2
○ 出生の動向	… 3
○ 死亡の動向	… 4
○ 総人口及び国保被保険者数と健診受診者数	… 6
○ 国民健康保険年齢階層別医療費の状況	… 7
○ 後期高齢者医療保険の状況	… 8

<保健事業報告>

I 母子保健事業	… 9
II 生活習慣病健診等事業	
特定健康診査・後期高齢者健康診査・健康診査事業	… 16
歯周病検診	… 20
III がん検診事業（胃・大腸・肺・子宮・乳房）	… 21
IV 感染症対策事業（予防接種、胸部レントゲン検診、新型コロナウイルス感染症対策）	
予防接種、胸部レントゲン検診	… 32
新型コロナウイルス感染症対策	… 36
V 精神保健福祉事業	… 38
VI 食育推進事業	… 41
VII 健康づくり事業	… 43
VIII その他（保健センター利用状況、ドック助成状況、健康づくり推進協議会、献血）	… 56

<付 録>

1 母子保健の状況	… 58
2 特定健康診査・特定保健指導実施状況	… 60
3 食育推進事業実施状況	… 63
4 運動指導等委託事業実績	… 63
5 第2次東御市健康づくり計画後期計画「健康とうみ21」評価項目	… 64
6 第2期東御市国民健康保険 保健事業実施計画（データヘルス計画）評価項目	… 69

< 保健統計 >

- 健康保健課事業内容
- 人口動態・年齢別人口
- 出生の動向
- 死亡の動向
- 総人口及び国保被保険者数と健診受診者数
- 国民健康保険年齢階層別医療費の状況
- 後期高齢者医療保険の状況



令和 3 年度 健康保健課事業内容

「自らの健康は自らつくる」を基本に、市民が手を携えて健康を守る活動に取り組みます。

基本目標：共に支えあい、みんなが元気に暮らせるまち

重点事業：生涯を通じた健康増進の推進

◇新型コロナウイルス感染予防の推進、コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施体制確保

◇健康づくり計画「健康とうみ21」後期計画の推進

ライフステージ (R3年度の状況)	社会 環境	ライフステージに 応じた健康づくり	保健事業・健康増進事業	関連する法律
妊娠届 174件	家庭	安全な妊娠の継続	母子健康手帳交付	母子保健法
出生 185人		受動喫煙の防止、禁煙	妊婦健診・妊婦訪問	子ども子育て支援法
乳幼児期 (0～6歳) 1,541人 (5.2%)		育児環境づくり	もうすぐママパパ学級	児童福祉法
		母子関係の確立	赤ちゃんすくすくブック配布	児童虐待防止法
↓	学校	児への愛着形成	産婦健診	発達障害者支援法
学童期 (7～12歳) 1,578人 (5.3%)		かかりつけ医を持つ	産後ケア・乳児家庭全戸訪問	食育基本法
↓		規則正しい生活リズム を身につける	乳幼児健診・母子相談・発達相談	予防接種法
思春期 (13～18歳) 1,638人 (5.5%)		正しい食習慣を身につける	定期予防接種 (乳幼児期)	
↓	職場	歯みがきを習慣づける	定期予防接種 (学童期)	
青年期 (19～39歳) 5,982人 (20.0%)		楽しく体を動かす	思春期保健	
↓		自己管理能力を養う	SOSの出し方教育への連携	
壮年期 (40～64歳) 9,687人 (32.5%)		自分と他人のこころと 体を大切にする	不妊・不育症治療補助	健康増進法
↓	地域	生について学び人生の 自己決定能力を高める	特定健康診査・特定保健指導	高齢者医療確保法
前期高齢期 (65～74歳) 4,697人 (15.7%)		生活習慣病を予防する ライフスタイルの確立	健康診査・健康相談・健康教育	国民健康保険法
↓		ライフスタイルに合った 運動の習慣化	がん検診・歯周病検診	がん対策基本法
後期高齢期 (75歳～) 4,729人 (15.8%)		定期的な健(検)診受診	ウォーキング等運動教室	歯科口腔保健推進法
↓		健康に働くためのこころ と身体づくり	健康づくり講演会・出前講座	精神保健福祉法
死亡 372人		地域とのつながりを大切に にする	重症化予防保健指導	自殺対策基本法
		生活習慣を見直す	精神保健相談・心の健康づくり	
		病気を予防する	ゲートキーパー人材育成講座	
		生きがいを持つ	定期予防接種 (高齢期)	予防接種法
		認知症・寝たきりにならない生活	結核胸部レントゲン検診	感染症法
			後期高齢者健康診査	高齢者医療確保法
				介護保険法
		健康長寿		

※期別人口(割合)はR3.4.1現在(住民基本台帳)

※妊娠届、出生、死亡は令和3年4月～令和4年3月の件数

人 口 動 態

単位:人

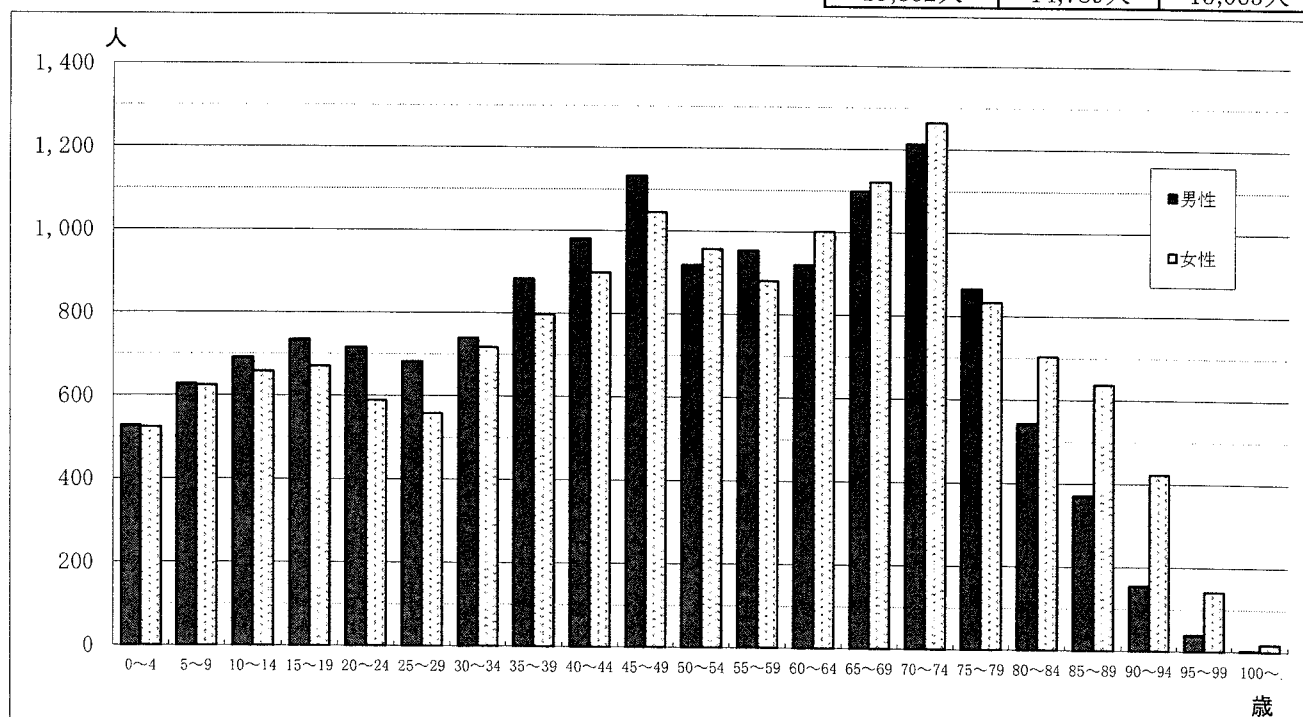
			人口 10月1日現在	出生	死亡	自然 増加	乳児 死亡	新生児 死亡	周産期 死亡	死産			婚姻	離婚
										総数	自然	人工		
平成 27年	東御市	実数	30,107	229	327	-98			2	5	4	1	122	55
		(率)		(7.6)	(10.9)	-(3.3)	(0.0)	(0.0)	(8.7)	(21.4)			(4.1)	(1.83)
	長野県	実数	2,072,135	15,638	24,536	-8,898	20	11	47	326	161	165	9,606	3,366
		(率)		(7.5)	(11.8)	-(4.3)	(1.2)	(0.7)	(3.0)	(20.4)			(4.6)	(1.62)
平成 28年	東御市	実数	29,967	203	369	-166				5	4	1	136	48
		(率)		(6.8)	(12.3)	-(5.5)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(24.0)			(4.5)	(1.60)
	長野県	実数	2,060,000	15,169	25,110	-9,941	29	16	56	312	178	134	8,967	3,180
		(率)		(7.4)	(12.2)	-(4.8)	(2.0)	(1.1)	(3.7)	(20.2)			(4.4)	(1.54)
平成 29年	東御市	実数	29,737	200	323	-123			2	9	8	1	105	55
		(率)		(6.7)	(10.9)	-(4.1)	(0.0)	(0.0)	(9.9)	(43.1)			(3.5)	(1.85)
	長野県	実数	2,047,000	14,519	25,665	-11,146	16	12	52	291	152	139	8,978	3,212
		(率)		(7.1)	(12.5)	-(5.4)	(1.1)	(0.8)	(3.6)	(19.6)			(4.4)	(1.57)
平成 30年	東御市	実数	29,561	231	337	-106				3	0	3	127	50
		(率)		(7.8)	(11.4)	-(3.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(12.8)			(4.3)	(1.69)
	長野県	実数	2,032,000	14,184	25,422	-11,238	21	12	40	253	123	129	8,737	3,053
		(率)		(7.0)	(12.5)	-(5.5)	(1.5)	(0.8)	(2.8)	(17.5)			(4.3)	(1.57)
平成 31年	東御市	実数	29,417	180	342	-162			1	4	3	1	112	43
		(率)		(6.1)	(11.6)	-(5.5)			(5.5)	(21.7)			(3.8)	(1.46)
	長野県	実数	2,016,000	13,553	26,041	-12,488	20	14	46	260	137	123	8,809	2,981
		(率)		(6.7)	(12.9)	-(6.2)	(1.5)	(1.0)	(3.4)	(18.8)			(4.4)	(1.48)

※資料:長野県衛生年報

年 齢 別 人 口

(令和3年4月1日現在:住民基本台帳)

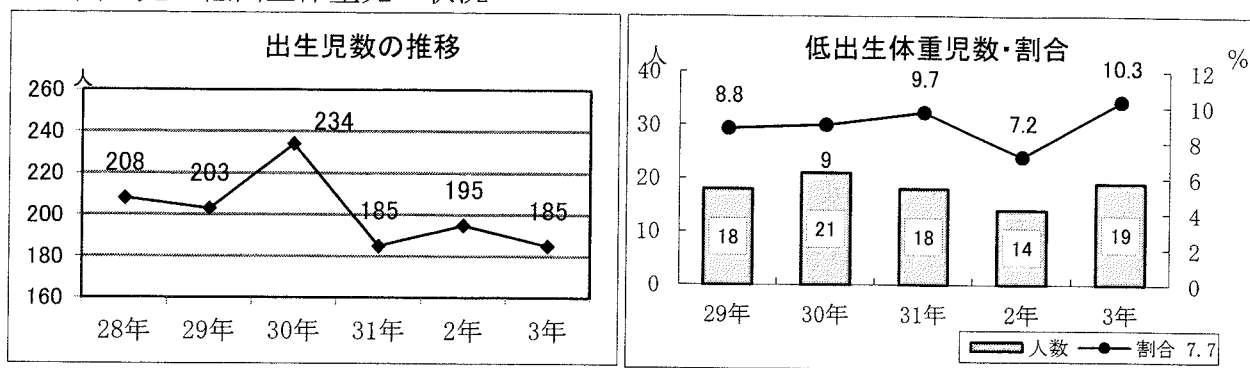
総人口	男性	女性
29,852人	14,789人	15,063人



出生の動向

【令和3年1月1日から12月31日】

1 出生児・低出生体重児の状況



2 出生児の体重の状況

単位：人

年	総数	2500g未満（低出生体重児）			2500～2999	3000～3499	3500～3999	4000以上
		～1999	2000～2499					
29年	203	18	2	16	85	79	18	3
30年	234	21	5	16	106	84	20	3
31年	185	18	3	15	84	64	17	2
2年	195	14	0	14	87	82	11	1
3年	※185	19	0	19	81	68	14	2

※不明1名含む

3 出産時の女性の年齢

単位：人

年	総数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上
29年	203	0	15	63	79	38	8	0
30年	234	3	26	62	79	53	11	0
31年	185	2	16	47	73	34	13	0
2年	195	1	13	49	73	49	10	0
3年	185	1	16	48	70	41	9	0

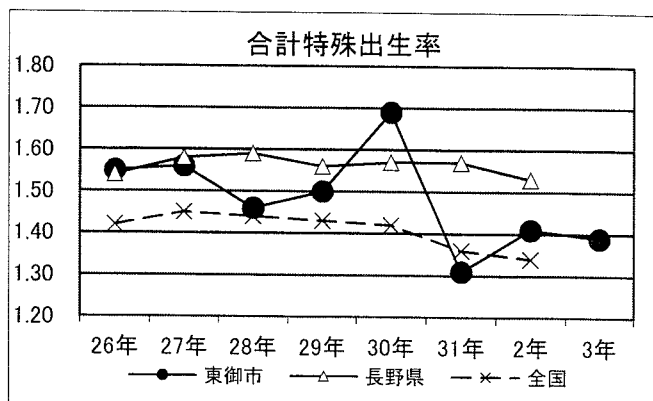
4 出生児の状況

単位：人

年	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子以上
29年	203	89	71	32	10	1
30年	234	115	70	36	11	2
31年	185	68	77	27	10	3
2年	195	89	72	25	5	4
3年	185	76	73	30	6	0

5 合計特殊出生率の推移

年	東御市	長野県	全国
26年	1.55	1.54	1.42
27年	1.56	1.58	1.45
28年	1.46	1.59	1.44
29年	1.50	1.56	1.43
30年	1.69	1.57	1.42
31年	1.31	1.57	1.36
2年	1.41	1.53	1.34
3年	1.39		



※1 2年、3年は概数値のため、修正される場合もある。

※2 市の率は、毎月人口異動調査（10月1日現在。国勢調査の年は国勢調査）の人口で計算。

（1～4 東御市出生届、5 長野県衛生年報及び厚生労働省人口動態統計月報年計（概数）による）

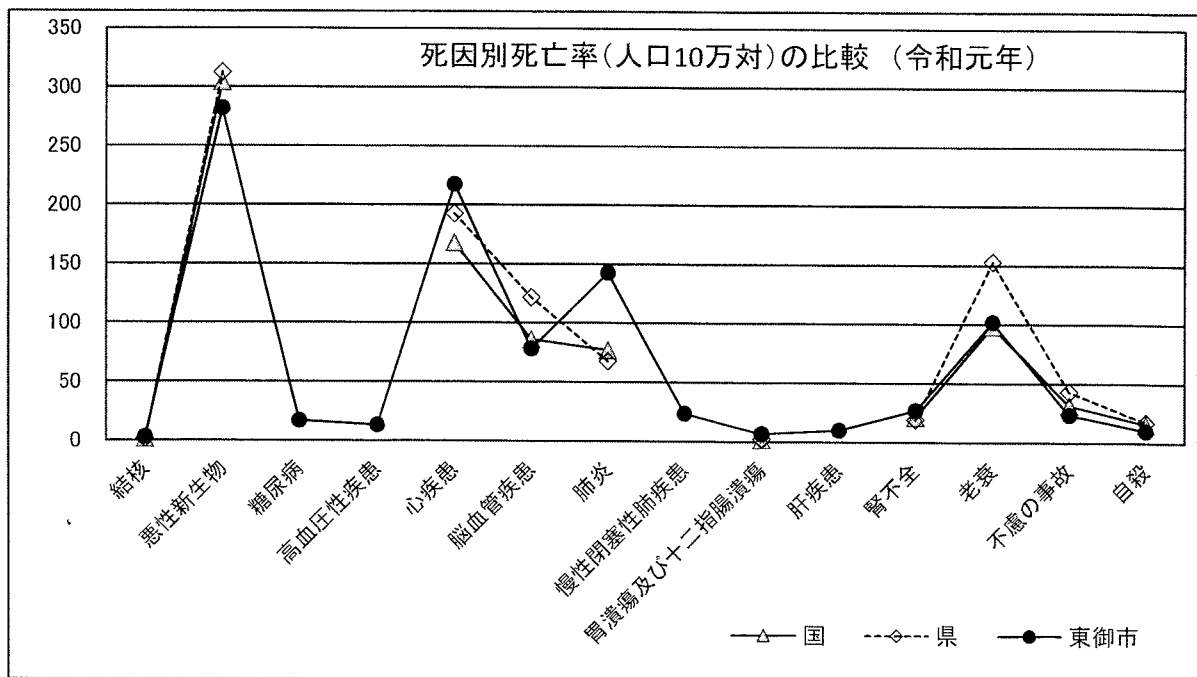
死亡の動向

【令和3年1月1日から令和3年12月31日】

1 死因別死亡者数

順位	(前年)	死亡原因	人数	人数 (男女別人数)		65歳未満の者の割合
				男	女	
1位	1位	悪性新生物	93	56	37	12.9%
2位	2位	心疾患	57	30	27	5.3%
3位	4位	肺炎	56	22	34	0.0%
4位	3位	老衰	55	21	34	0.0%
5位	5位	脳血管疾患	23	14	9	13.0%
6位	6位	不慮の事故	8	3	5	12.5%
7位	7位	肝疾患	6	3	3	33.3%
8位	8位	自殺	3	1	2	66.7%
8位	-	慢性閉塞性肺疾患	3	2	1	0.0%
8位	-	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3	0	3	0.0%
		上記以外	78	39	39	11.5%
計			385	191	194	8.3%

(東御市死亡届より)



(令和元年版長野県衛生年報より)

2 65歳未満の死因別死亡者数

【令和3年1月1日から令和3年12月31日】

順 位		死 因	人数	(男女別)	
	(前年)			男	女
1 位	1位	悪性新生物	12	6	6
2 位	2位	心疾患	3	2	1
2 位	-	脳血管疾患	3	3	0
4 位	2位	自殺	2	0	2
		上記以外	12	6	6
計			32	17	15

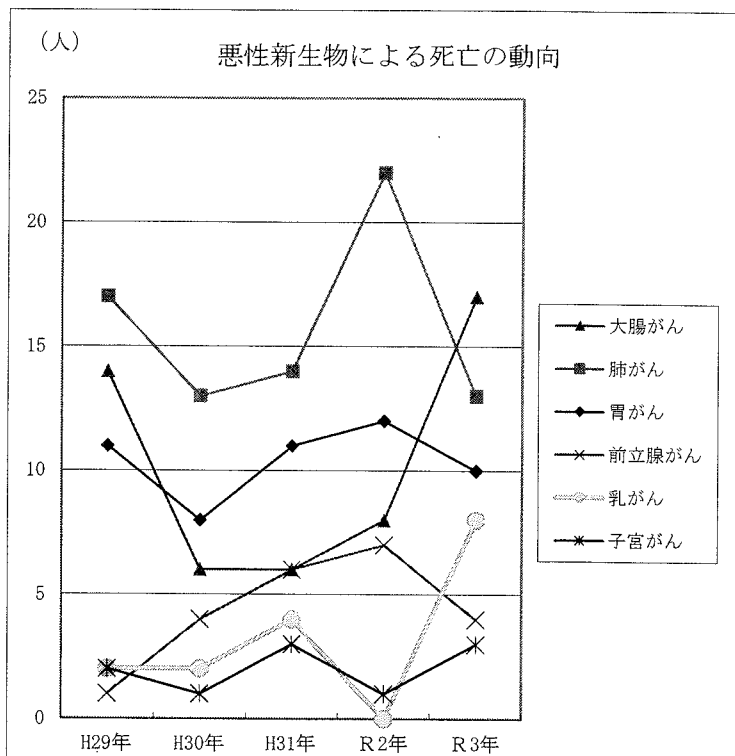
3 悪性新生物による死亡の動向（令和3年）

(1)がん検診対象のがん (人)

	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年
大腸がん	14	6	6	8	17
肺がん	17	13	14	22	13
胃がん	11	8	11	12	10
前立腺がん	1	4	6	7	4
乳がん	2	2	4	0	8
子宮がん	2	1	3	1	3
計	47	34	44	50	55

(2)その他のがん	H31年	R2年	R3年

	R01+	R02+	R03+
膵がん	13	7	9
肝がん	10	5	2
膀胱がん	5	4	2
胆のうがん	3	1	4
口唇、口腔及び咽頭がん	3	2	1
白血病	0	0	2
食道がん	0	2	1
その他	6	16	17



4 脳血管疾患による死亡者の内訳（令和3年） ○ 65歳未満 ● 65歳以上

	脳梗塞	脳出血	クモ膜下出血	その他
男	○●●●● 4人	○●●●●●●●●●● 9人	○ 1人	0人
女	●● 2人	●●●●● 4人	●●● 3人	0人

5 心疾患による死亡者の内訳（令和3年） ○ 65歳未満 ● 65歳以上

[illegible]

(東御市死亡届より)

年齢階層別人口及び国保被保険者数と健診受診者数（R3年度）

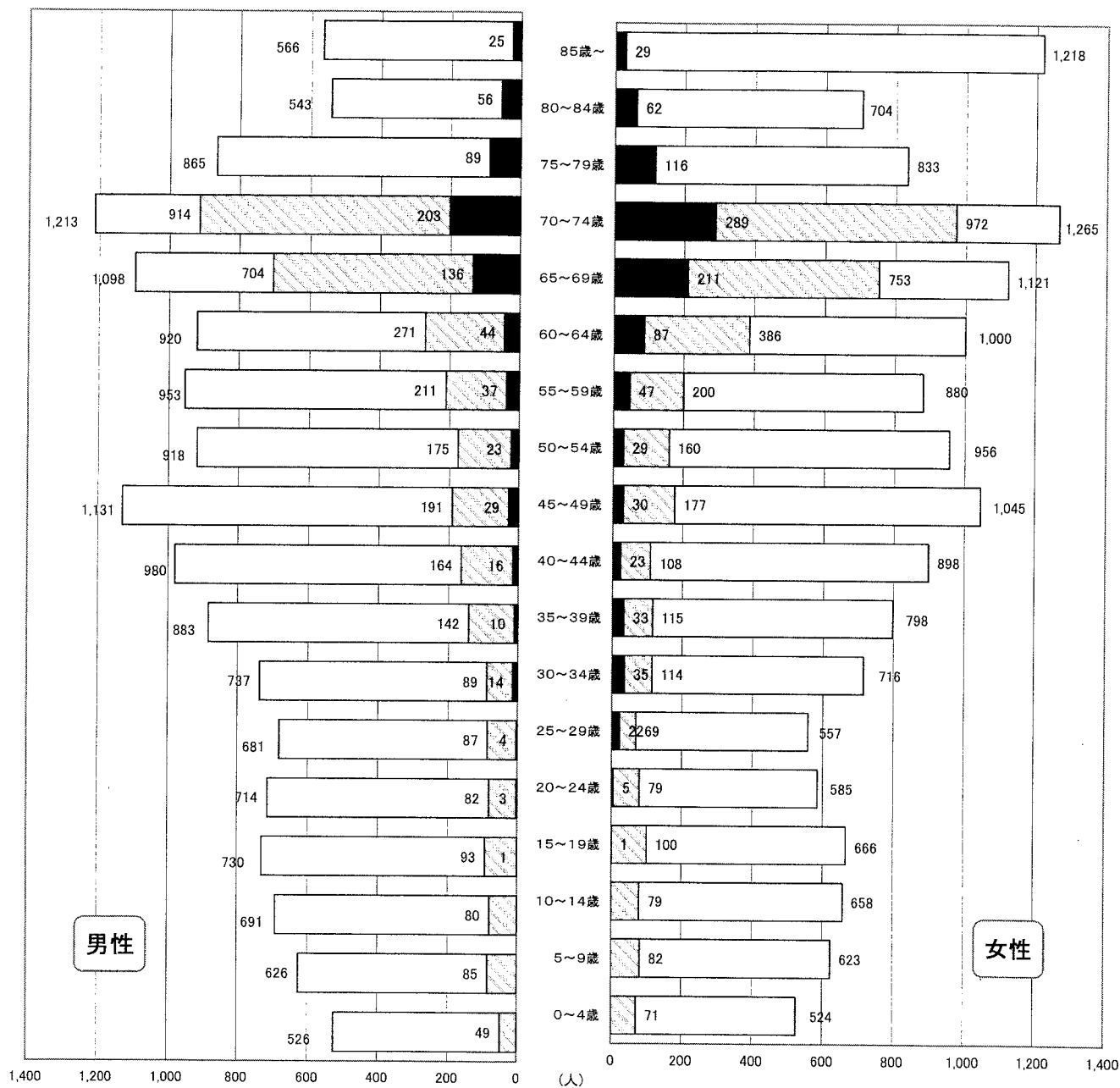
人口 ※令和3年4月1日現在 住民基本台帳

国保被保険者数 ※令和3年5月現在

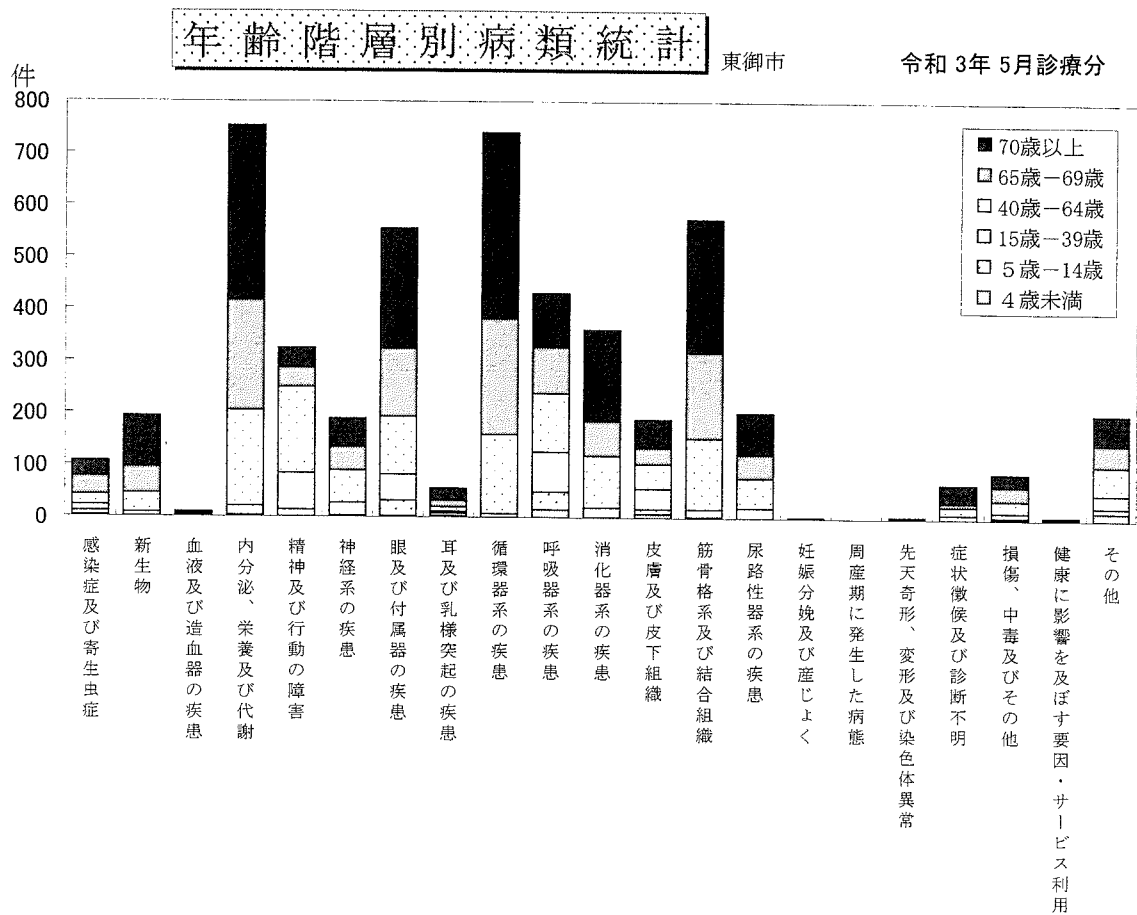
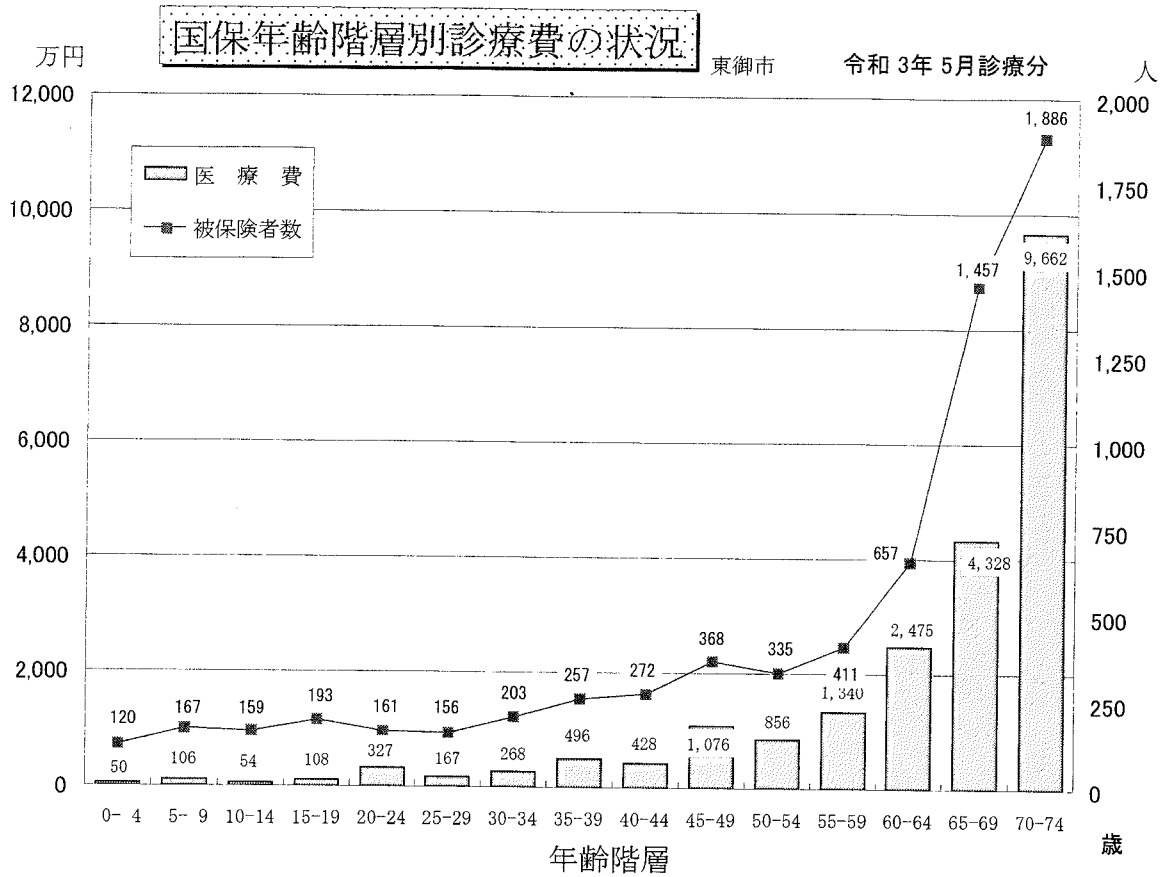
（※75歳以上及び障がい認定は後期高齢者医療保険被保険者）

健診受診者数 ※令和3年度

市内医療機関受診者及び集団健診受診者数



	男	女	合計
総人口	14,775人	15,047人	29,822人
国保被保険者数	3,337人	3,465人	6,802人
健診受診者数	690人	1,019人	1,709人
総人口に占める国保被保険者数	22.59%	23.03%	22.81%

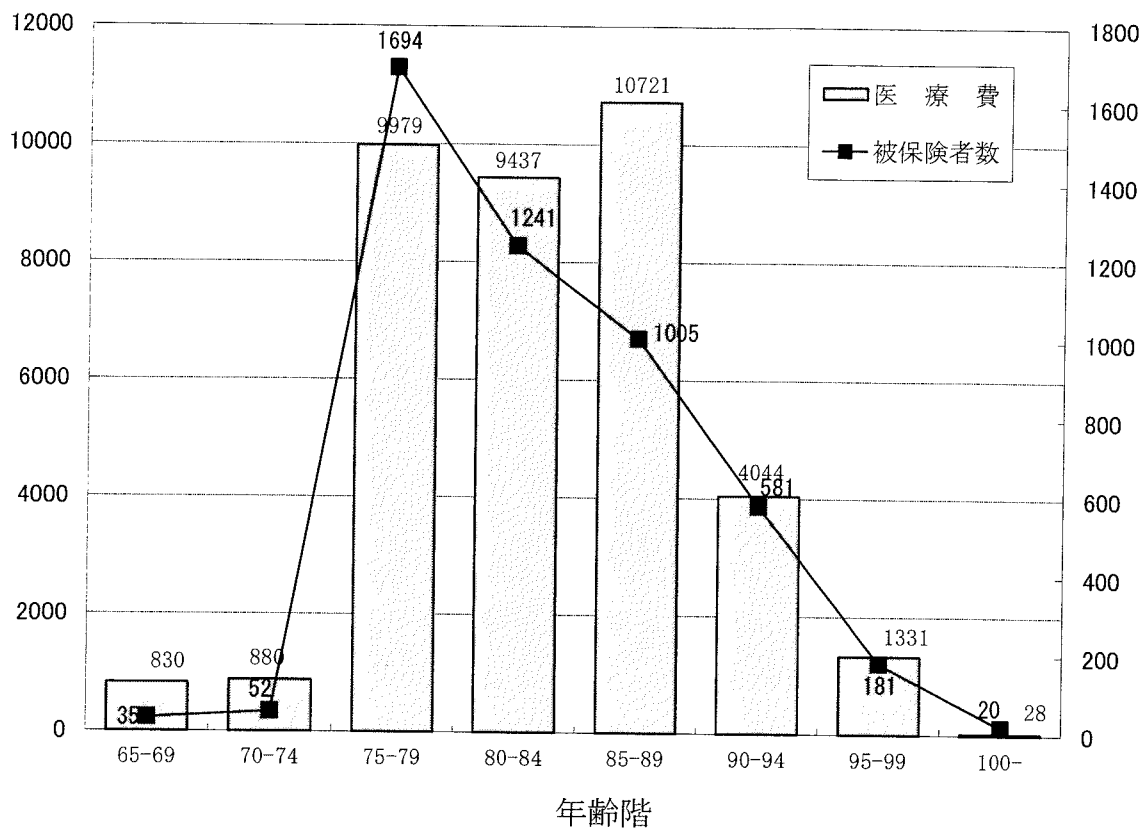


万円

後期高齢者医療年齢階層別診療費の状況

令和3年5月

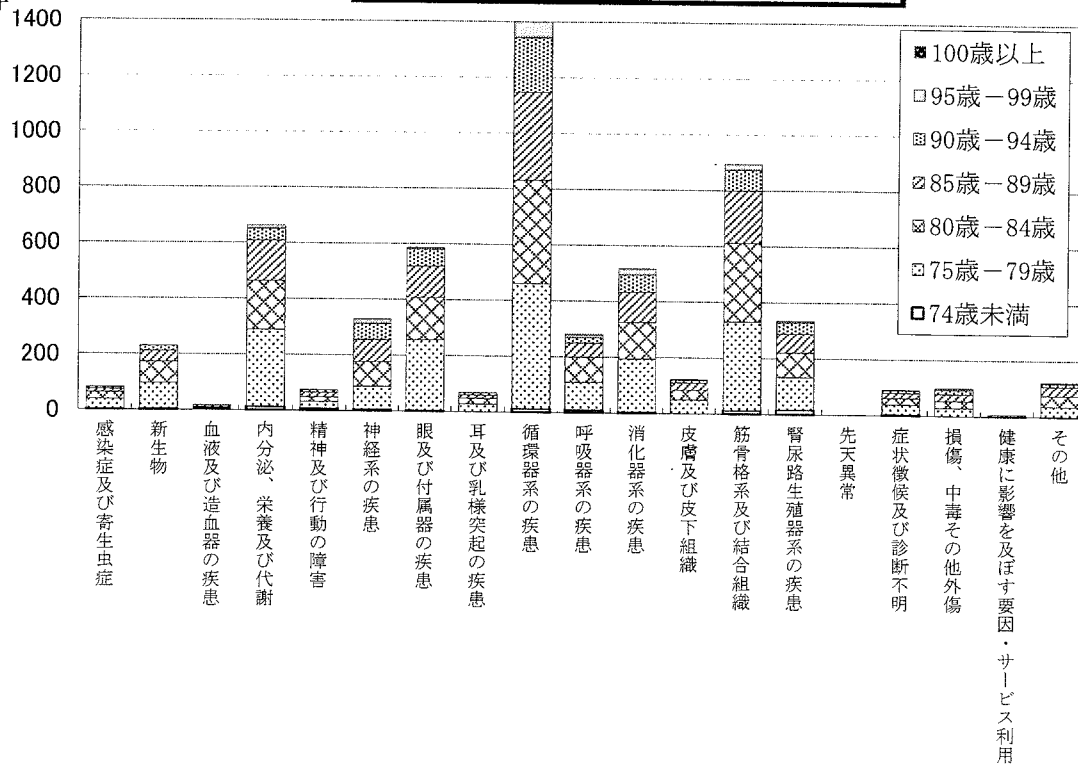
人



年齢階層別病類統計

令和3年5月

件



< 保健事業報告 >

- I 母子保健事業
- II 生活習慣病健診等事業
- III がん検診事業
- IV 感染症対策事業
- V 精神保健福祉事業
- VI 食育推進事業
- VII 健康づくり事業
- VIII その他



I 母子保健事業

1. 妊娠届と母子健康手帳交付

目 的：母子保健法に基づき、妊娠の届出のあった妊婦に対し妊産婦と胎児の健康管理及び子どもの成長を記録するための母子健康手帳を交付しています。また、妊婦一般健康診査受診票、妊婦歯周病検診受診券、産婦健康診査受診票、産後ケア事業補助券の交付と保健指導を行っています。

内 容：母子相談室2部屋を整備、保健師が個室で、安全・安心な妊娠出産に向けた相談支援を行う。育児支援者の有無や兄弟児の保育支援の有無、配慮が必要な体調管理及び精神的不安定さの状況等を伺い、必要に応じて子育て支援や福祉のサービスを紹介し、継続的な支援を行います。

届出時妊娠週数	～満 11 週	満 12～19 週	満 20 週～	計
届出・新規交付件数	164 件	7 件	3 件	174 件
再交付等件数（事由：紛失、汚損）				6 件

2. 妊婦一般健康診査

目 的：母体及び胎児の健康状態を確認し、安心して妊娠・出産ができるようにするため、妊婦の健康診査を医療機関に委託して実施しています。

内 容：基本健診 14 回、追加検査 5 回、超音波検査 4 回を公費負担。県外医療機関受診者には償還払いにより補助。

健診・検査	受診票発行数	年度中受診数
基本健診（14 回）	2,599 枚	2,075 回
追加検査（5 回）	926 枚	805 回
超音波検査（4 回）	738 枚	658 回
県外医療機関受診者		8 人

3. 妊婦歯周病検診

目 的：妊娠期間中の口腔機能の維持、改善を図ることにより妊婦の適切な栄養摂取を促し、母体の健康及び胎児の健全な発育を保持します。

対 象：全妊婦（安定期である妊娠 5～7 か月を目安）

内 容：妊娠届出時に受診券交付、市内歯科医で受診します。自己負担 500 円

年度	受診券発行	受診者数	備考（受診券発行のうち）
H31	219 枚	75 人	転入者 14
R2	189 枚	55 人	転入者 3
R3	183 枚	64 人	転入者 9

4. 妊産婦相談訪問

目 的：妊娠から出産、育児において切れ目ない支援を行うことで、妊婦の心身の安定と共に乳幼児の虐待防止を図ります。

内 容：妊娠7ヶ月頃の妊婦を対象に、助産師又は保健師が訪問して、健康状態の確認と妊娠中の保健指導、出産・育児に係る相談に応じます。30年度より、助産師訪問はすべて市立助産所とうみへ委託しています。

年度	訪問	来所	電話	合計（うち助産所への委託数）
H31	114	35	28	177（168）
R2	85	41	38	164（139）
R3	30	33	85	148（134 うち妊婦 131 産婦 3）

5. もうすぐママパパ学級

目 的：①妊娠、出産、育児について正しい知識の習得と、これからの子育てに対する積極的な姿勢を養い、子への愛着形成を図ります。

②妊娠期の食生活・栄養について正しい知識を学び、胎児期・妊娠期からの生活習慣病予防を意識づけ、良好な生活習慣の確立を支援します。

③保健師（相談窓口）と母親、同世代の子を持つ親同士のつながりを形成し、子育ての孤立化防止と不安の軽減を図ります。

対 象：全妊婦（出産予定7月～翌年6月）及びその家族

※転入者は対象人数に含まない。

区 分	対象者	参加者数	参加率	
				（前年）
妊 婦	170	41	24.1%	15.3%
うち初産婦	78	36	46.2%	33.3%
家 族	—	36	—	—
もうすぐママパパ学級				
内 容：年間6講座開催（奇数月）				
スタッフ：保健師、助産師、保育士				
主 な 内 容				
＜妊娠・産後の生活を快適に過ごすために＞				
・妊娠中の生活、異常と対策 ・分娩の経過				
・産後の心身の変化 ・沐浴方法（実習）				
ママとパパの食教室 2回開催 参加者数 16人（内家族6人）				
＜赤ちゃんの成長とお母さんの健康のために＞				
・1日に何をどれくらい食べたらよいか				
・妊娠中に必要な栄養素について				

6. 育児教材の配布・活用

目 的：子どもの発達や成長への理解を深め、育児に必要な教材媒体として「赤ちゃんすくすくブック」を作成し、出生届を提出した保護者に配布します。また、新生児訪問、乳幼児健診や教室で活用しています。

内 容：子どもの発達・離乳食の進め方・ふれあい遊びのすすめ・健診のおたずね票・予防接種について・予診票等

7. 産婦健康診査

目 的：産後 1 か月の産婦の心身の健康診査を行い、質問票等を用いて丁寧に産婦の精神的不安を聞き取り、産後うつ予防を図ります。

内 容：健康診査 1 回を公費負担。県外医療機関受診者は償還払いにより補助。

健診・検査	受診票発行数	年度中受診数
産婦健康診査（1 回）	193 枚	178 回
県外医療機関受診者		4 人

8. 乳児家庭全戸訪問

目 的：乳児の発育・発達の確認、母親の育児支援を行います。

内 容：体重測定、発達・発育の確認、乳幼児健診と予防接種の説明、育児相談
母親の健康相談と EPDS（産後うつスクリーニング）実施
外国人母子には生活安全係通訳の訪問同伴により対応しました。

年度	訪問数		他 市 から の依頼	産科医療機関等からの連絡票 (対出生数割合)
		(うち他市へ依頼)		
H31	188	(4)	17	45 (23.9%)
R2	184	(4)	14	48 (26.1%)
R3	181	(7)	7	40 (22.1%)

9. 産後ケア事業（宿泊※平成 29 年度から、通所※平成 31 年度から）

目 的：出産後の心身不調もしくは育児不安のある母子が、スムーズに自宅での生活に移行できるよう支援します。

内 容：市内助産施設に宿泊又は通所し、母体の心身のケアや授乳指導、育児のアドバイスなどを行います。

年度	区分	利用数	延べ利用日数
H31	宿泊	7 人	43 泊
	通所	41 人	延べ 111 回
R2	宿泊	11 人	66 泊
	通所	71 人	延べ 224 回
R3	宿泊	5 人	23 泊
	通所	77 人	延べ 226 回

10. 乳幼児健康診査

目的： 発育発達の評価と疾病・障がいの早期発見、う歯の早期発見、母親の育児支援を行っています。

内容等： 毎月1回対象月を定めて実施しています。2歳児歯科健診は隔月で実施。

区分	内 容
4か月児健診	問診、小児科・整形外科診察、身体計測、集団健康教育、育児相談
10か月児健診	問診、小児科診察、身体計測、集団健康教育、育児相談、栄養相談、歯科相談、ブックスタート
1歳6か月児健診	問診、内科診察、歯科診察、身体計測、集団健康教育、育児相談、栄養相談、歯科相談、RDテスト、心理相談
2歳児歯科健診	問診、歯科診察、集団健康教育、ブラッシング指導、育児相談、栄養相談、絵本の読み聞かせ
3歳児健診	問診、内科診察、歯科診察、視力検査、尿検査、身体計測、集団健康教育、育児相談、栄養相談、歯科相談、言語相談
スタッフ	医師（小児科・整形外科・内科・歯科）、助産師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、利用者支援員、心理相談員、視能訓練士、言語聴覚士、図書館司書

実施状況：

＜小児科・整形外科・内科＞ ※R4.1月のみコロナウイルス感染状況により中止

R4.4.5現在

健診区分	年度	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	診察所見あり (人)	要精密検査 (人)	精密検査 実施率(%)
4か月児	31	199	191	96.0	25	8	100.0
	2	195	195	100.0	45	11	54.5
	3	185	186	100.5	28	5	100.0
10か月児	31	197	189	95.9	40	2	100.0
	2	202	198	98.0	23	2	0.0
	3	188	182	96.8	16	0	-
1歳6か月児	31	218	206	94.5	48	3	100.0
	2	213	213	100.0	42	4	0.9
	3	210	198	94.3	25	0	-
3歳児	31	204	200	98.0	41	33	60.6
	2	212	211	99.5	32	28	67.9
	3	215	208	96.7	35	33	75.8

・所見、精密検査の数字は実数(延べ数でない)

・対象月に受診しない場合は翌月以降の受診を勧奨している。

・未受診者に対しては、電話・訪問等により未受診の理由や状況を確認している。

未受診者の理由 3歳児7名中6名は海外滞在と長期療養による未受診(未受診率:0.5%)

1歳6か月児12名は海外滞在や長期療養等なし(未受診率:5.7%)

＜歯科＞ ※R4.1月の1.6歳、3歳児健診はコロナウイルス感染症まん延防止期間のため中止

健診区分	年度	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	う歯保有率 (%)	むし歯のない幼児の割合 (%)
1歳6か月児	31	218	206	94.5	0.0	100.0
	2	213	205	99.5	0.0	100.0
	3	210	198	94.3	0.0	100.0
2歳児歯科	31	210	188	89.5	0.0	97.9
	2	230	210	91.3	3.3	96.7
	3	216	187	86.6	3.7	96.3
3歳児	31	204	200	98.0	10.5	89.5
	2	212	208	98.1	8.7	91.3
	3	215	208	96.7	7.7	92.3

1 1. 未熟児養育医療の給付

目 的：身体の発育が未熟なまま生まれたため、医師が入院を必要と認めた乳児の治療費の一部を負担します。

対 象：入院を必要とする未熟児（乳児）

年度	受給者数（人）	給付件数（入院月数）	扶助額（円）
H31	5	10	1,183,113
R2	3	4	375,163
R3	0	0	0

1 2. 離乳食教室

(1) ごっくん離乳食教室・もぐもぐ離乳食教室（各月1回開催）

目 的：離乳食初期から後期にかけての学習や試食を通じ、好ましい食習慣の形成と食の適切な進め方を学びます。赤ちゃんとの遊びを通じて母子間の愛着形成を支援しています。

内 容：赤ちゃん体操・あそびの紹介・歯と口腔機能について・離乳食の進め方と試食・個別相談等

スタッフ：保健師・栄養士・歯科衛生士

年度	教室区分（対象児）	対象者(人)	参加者(人)	率(%)
H31	ごっくん（満5か月児）	193	142	73.6
	もぐもぐ（満7か月児）	204	132	64.7
R2	ごっくん（満5か月児）	169	131	77.5
	もぐもぐ（満7か月児）	166	109	65.7
R3	ごっくん（満5か月児）	139	87	62.6
	もぐもぐ（満7か月児）	149	88	59.1

※新型コロナウイルス感染症予防のため1～3月は個別対応として、教室未実施

1 3. 相談事業（健康相談・心理相談・言語相談・発達相談）

目 的：子どもの心身の発育・発達について専門家が相談に応じ不安の軽減に努めます。また必要に応じ医療、福祉等のサービスにつなげます。

名称	相談員	内 容	開催	実績
母と子の健康相談	保健師	計測、発育・発達全般、	毎週火曜日 計40回	乳児：延192人 幼児：延176人
母と子の健康相談（食・歯）	管理栄養士・歯科衛生士	栄養相談・歯科相談	第2火曜日 計12回	栄養相談：延45人 歯科相談：延51人
育児相談	心理発達相談員	発達や育児に関する相談	月2～3回 計25回	延45人

言語相談	言語聴覚士	ことばに関する相談	計 15 回	延 26 人
発達相談	小児科医	発達に関する専門相談	計 9 回	延 13 人

※母と子の健康相談は、新型コロナウイルスまん延防止期間中止しました。

1 4. 不妊・不育症治療費補助金交付事業

目 的：不妊治療、不育症治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減します。

対 象：保険適用外の治療にかかる経費

補助率：対象経費の 1/2 以内（上限 20 万円/年×最長 5 年）

年度	相談	不妊（人）		不育症（人）		補助額 (円)
		交付	うち新規	交付	うち新規	
H30	17	25	20	0	0	1,605,304
H31	11	24	11	1	1	1,299,827
R2	12	25	22	0	0	1,431,985
R3	3	24	12	0	0	1,772,489
H18～R3 年度累計：補助 212 件（実 139 人）・子の出生 71 人、出産予定 5 人						

(R4.3 月末現在)

1 5. 切れ目ない支援の実施

(1) 関係者会議の開催

- ・市内助産施設連携会議：市内の助産施設（助産所とうみ・しのはら助産院）の職員と、妊娠期の母子を支える関係者が定期的に話し合い、事業検討や連携を図るための話し合いを隔月で実施。年 6 回開催
- ・母子定例会：課内の保健師間の情報共有により、地区担当間での目線合わせを行い対応の向上に努めた。研修報告やケース検討も併せて実施。毎月 1 回 12 回開催
- ・子育て支援課連携会議：乳幼児健診で、保護者への遊びや対応等の支援が必要な対象者を子育て支援センターにつなぐ。また、子育て支援センターで実施している事業の報告を受けて情報共有を実施。年 4 回開催
- ・保育園との情報共有会議：乳幼児健診での結果を踏まえ、保護者の了解を得て入園に向けての発達課題等に対する支援や対応の必要性について引継ぎを実施。年 3 回。市内 5 園にて実施。
- ・関係各課の会議への出席
 - 子育て支援課 発達支援連絡調整会議、園長会、子ども・家庭支援室準備会議、子育て審議会等
 - 福祉課 要保護児童対策協議会、切れ目ない子育て支援会議等

(2) 研修会の開催

- ・母子保健委託者研修会：乳幼児健診等に携わる委託職員との情報共有および健診の質の向上を図るため実施。年 1 回開催
- ・上小保健師会、上田保健福祉事務所主催の研修会への参加および企画立案

(3) 個別保健指導（各地区担当保健師、管理栄養士）

- ・妊婦、産婦、乳幼児個別フォロー
医療機関・他市町村からの妊産婦・新生児等連絡箋あり対応者：61 名
- ・医ケア等医療・福祉関係フォロー
- ・子育て支援・福祉・学校保健等の個別支援会議
- ・要保護児童対策協議会等
- ・ケース支援会議

(4) 家庭訪問

- ・妊婦、新生児、乳児、幼児等、健診後の相談や育児支援等必要に応じ継続的なフォロー訪問を実施し、サービス紹介や個別相談に応じた。

(5) 乳幼児虐待への対応

- ・乳幼児健診等の母子に関わる全ての場面において、保健師が子どもの発育状況や身体的異変、養育環境、保護者の言動等を注意深く観察し、虐待に至らないように適宜見守り、相談、指導、啓発を行っている。急を要するケースは、福祉課の児童虐待担当へつなぎ、児童相談所の介入等適切な対応の後、必要に応じて事後のフォローを行う。

保健師が継続的にフォローしている乳幼児 72 人（内訳：身体的虐待 14・心理的虐待 21・ネグレクト 10・養護 23・不登校 4）

Ⅱ 生活習慣病健診等事業

1. 特定健康診査・後期高齢者健康診査・健康診査

特定健康診査（以下、特定健診）は、平成20年4月から、高齢者の医療の確保に関する法律第20条により実施するもので、市が40歳～74歳の国民健康保険加入者を対象として、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健康診査を毎年度計画的に実施するものです。

また、特定健診は生活習慣病健診であることから、市独自の事業として、より早期に生活習慣の改善を図るため、全市民を対象に若い世代からの健康診査を実施しています。

（1）健診の種類と受診状況（いずれもR4. 5. 31現在の受診確認状況）

- ・ 特定健診（40～74歳東御市国保加入者） 1,935人
（特定健診1,310人：個別1,057+JAヘルス253 人間ドック625人：受領委任549+補助金76）
- ・ 後期高齢者健診（後期高齢者医療に加入している者で申込者） 646人
（後期高齢者健診412人：個別351+JAヘルス61 人間ドック234人：受領委任220+補助金14）
- ・ 健康診査（19～39歳の申込者） 134人（国保53人・国保以外81人）
- ・ 健康診査（被生活保護世帯で申込者） 8人

（2）受診券の発行（特定健診・後期高齢者健診・健康診査）

健診対象者に対する意識づけ、健診機関における受診者資格の確認、重複受診の防止、健診費用・利用者負担金額の確認等を目的に発行しています。平成24年度から（公財）長野県健康づくり事業団に作成を委託しています。なお、人間ドック補助申請の際には、受診券を回収し重複補助の無いよう配慮しています。

- ・ 特定健診受診券発行件数 5,097件（再発行件数：43件、追加発行件数：60件）
- ・ 後期高齢者健診受診券発行件数 759件（再発行件数：45件、追加発行件数：1件）
- ・ 健康診査受診券発行件数 445件（再発行件数：43件、追加発行件数：0件）

（3）健診の方法

① 個別健診実施

平成23年度から家庭医制度定着のため、かかりつけ医で健診・即治療ができるよう、県医師会と集合契約を締結し、6月から1月まで市内外の指定医療機関で受診ができます。市内指定医療機関では、前立腺がん検診・大腸がん検診の同時実施が可能です。

② 集団健診実施

平成26年度から受診機会の確保のため、信州うえだ農業協同組合・佐久浅間農業協同組合との共催による集団健診を実施しています。

年度	特定健診	後期高齢者健診	健康診査
R元	2 5 6 人	2 2 人	6 人
R2	2 7 8 人	2 9 人	2 人
R3	2 5 3 人	6 1 人	6 人

R3. 11. 15・18・19 ラヴェリテ R3. 12. 14 北御牧公民館

R4. 2. 3 和コミュニティセンター・R4. 2. 7 滋野コミュニティセンター 新型コロナウイルス感染症再拡大のため、中止。

＊詳細健診・追加健診は前年度健診結果に基づき対象者を選定しています。二次健診は問診や血圧、医師の診察により対象者を選定しています。69歳までの該当者で1回のみ市が補助をしています。

③ 詳細健診：心電図(受診者数175人)、眼底検査(受診者数82人)

④ 二次健診：糖負荷検査(受診者数/対象者数 3人/28人)
頸動脈エコー検査(受診者数/対象者数 2人/15人)

(4) 医療機関や個人からの検査結果データ提供に対する補助

治療中のため、健診項目を医療で実施している方については、検査結果の情報提供をしていただき、特定健診受診者として計上しています。

検査結果提供の医療機関には委託料を支払い、個人からの検査結果提供については、東御市商工会リブカードを贈呈しています。

検査結果データ提供者：232名

2. 特定保健指導・保健指導

特定保健指導および保健指導の対象者は、特定健診の結果により、腹囲・肥満度に加え、追加リスク(血糖・脂質・血圧、喫煙)の個数により、動機付け支援・積極的支援・情報提供の3種類に対象者を階層化し、実施しています。

特定保健指導は、動機付け支援・積極的支援の対象者に実施し、保健指導は情報提供の対象者に実施しています。

特定保健指導・保健指導の内容は、対象者自身が健診結果を理解し、体の変化に気づき、自らの生活習慣を振り返り、生活習慣を改善するための行動目標を設定するとともに、自らが実践できるように支援し、そのことにより対象者が自分の健康に関するセルフケア(自己管理)ができるようになることを目的としています。

平成24年度から、個別健診受診者の動機付け支援・積極的支援の特定保健指導の一部を市内医療機関に委託しています。

(1) 特定保健指導

保健師・管理栄養士が、特定健診受診後、対象者に初回面接・継続支援・評価保健指導を実施しています。

① 積極的支援の保健指導：対象者42人のうち34人に訪問面接実施

対象：腹囲＋リスク2つ以上・腹囲正常でもBMI25以上＋リスク3つ以上

② 動機づけ支援の保健指導：対象者149人のうち116人訪問面接実施

対象：腹囲＋リスク1つ、腹囲正常でもBMI＋リスク1～2つ

65歳～74歳で積極的支援対象者は動機づけ支援として対応

③ 3～6か月評価保健指導：対象者237人のうち112人に評価実施

上記①及び②の対象者及び前年度初回面接対象者に対し、初回面接実施6ヵ月後に、保健師・管理栄養士が体重、腹囲、血圧、生活習慣改善の有無等について確認しています。

(2) 保健指導

積極的支援・動機付け支援以外の情報提供者に対する保健指導を実施しています。対象者自らが健診結果から身体状況が認識でき、生活習慣を見直すきっかけとなるよう、保健師・管理栄養士が経年表・構造図などの資料を利用して健診結果と生活の結びつきについて説明し、生活習慣や健診結果から将来予測がイメージできるように情報提供しています。また、医療機関への受診勧奨や服薬の重要性、継続した健診の必要性等対象者に合わせた保健指導を実施しています。

特定健診受診（人間ドック受診者・検査結果データ提供者を含む）者で、情報提供対象者1,881人のうち、面接・訪問・電話等必要に応じて実施しました。

① 重症化予防

糖尿病合併症・脳血管疾患・心臓病・透析等を未然に防ぐ保健指導を行っています。

対象：高血圧・糖尿病コントロール不良、未受診者など（重症化予防事業参照）

○年度受診者で、個別・集団・窓口等で把握した重症化予防対象者

H31	140人	R2	134人	R3	126人
-----	------	----	------	----	------

② 慢性腎臓病（CKD）予防

CKD（慢性腎臓病）の発症・進行を予防し、将来的に人工透析導入者を減少するために実施しています。

対象：主にeGFR50未満または尿蛋白（++）以上

○市内医療機関にて特定健診を受けた者のうち、CKD予防対象者

H31	94人	R2	118人	R3	86人
-----	-----	----	------	----	-----

③ 二次健診（75g糖負荷検査・頸動脈超音波検査）受診者への保健指導

血糖値やインスリン分泌の状態と生活習慣を関連付けてみることで、生活習慣を改善し、将来的に糖尿病などの生活習慣病を予防するために実施しています。

④ 健康診査受診者・後期高齢者健診受診者への保健指導

若い世代からの生活習慣病予防、後期高齢者の保健指導も実施しています。

3. 重症化予防事業

血管障害による疾病の重症化予防および慢性腎臓病予防に取り組み、市民の健康の保持・増進および生活の質の維持、ひいては医療費の適正化を図るため、継続的に保健指導を実施しています。また、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、糖尿病の重症化予防事業を実施しています。

<事業内容>

①高血圧

平成22年度の統計より、全国及び県と比較して東御市の脳血管疾患による死亡が多いことから、高血圧者を減少させることで脳血管疾患で死亡する者を減少させる効果が期待できるため、健診結果がⅡ度（160/100）以上高血圧だった者を選定して保健指導を実施し、継続して関わることで対象者の血圧の安定化を目指しました。

○年度Ⅱ度以上高血圧者数

H31	77人	R2	49人	R3	44人
-----	-----	----	-----	----	-----

訪問、電話連絡等により対象者の状況把握を実施し、それぞれに合った資料を活用して健診受診、治療継続の必要性及び生活習慣改善の重要性等を指導しています。

○Ⅱ度以上高血圧保健指導実施者数

H31	30人	R2	15人	R3	8人
-----	-----	----	-----	----	----

検査結果の安定が図られた者の増加、治療に結びついた者の増加、保健指導によって生活改善を行っている者の増加等を持って評価します。

②慢性腎臓病（CKD）予防

たんぱく尿や腎機能低下の状態であるCKDは、放置すると透析導入の原因になります。毎年の健診等で変化を確認していくことが重要であることを啓発する等、腎機能低下を予防するよう保健指導を実施しました。

CKD継続支援実施者数（国保加入40～74歳）

主にeGFR50未満または尿蛋白（++）以上のCKD継続支援対象者数	123 人
健診等受診し経過を追っている人数	72 人

③糖尿病性腎症重症化予防

糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って、平成23年度以降健診結果がHbA1c6.5%以上者の台帳を作成し、最新値HbA1c7.0以上者またはeGFR60未満者に訪問、電話等で糖尿病の治療状況を確認する等、保健指導を実施しました。

対象者	139 人
保健指導実施者数	87 人

- ・医療機関未受診者へのアプローチ 10人
- ・R4.1月：昨年度アンケートを実施した結果から、薬についての学習希望者が多かったため、薬の資料をアンケート回答者19人に送付した。
- ・R4.3月：糖尿病専門医を講師とした保健指導に従事する保健師・管理栄養士を対象とした学習会を開催した。保健師、管理栄養士11名参加。

4. 訪問・相談実績等

生活習慣病予防相談（延人員）	特定健診・保健指導等	健康増進事業
保健師が実施した相談	867	1,320
管理栄養士が実施した相談	520	253

5. 受診率向上に向けての取り組み

①受診勧奨の方法

- ・受診券を対象者に送付。
- ・はがきによる勧奨。（健診、ドック、検査結果提供等希望に応じた案内を4回）
- ・対象者を地区ごとに名簿管理しているため、電話で個々の状況を確認し人間ドックや健診受診・医療機関からの検査結果提供など、個人に合った受診勧奨を行い継続受診につなげています。
- ・各地区の受診勧奨計画を作成し、健康づくり推進員等地域住民と協力して学習会を実施。
- ・出前講座等による健診受診勧奨、および出前講座での健診受診勧奨

②受けやすい健診体制の整備

- ・かかりつけ医にて、受診しやすいよう引き続き個別健診の継続。
- ・かかりつけ医のない対象者の受診しやすい環境整備のため、JAヘルススクリーングをJAと共催で実施した。

6. 第2期データヘルス計画（H30年度～）

東御市国民健康保険加入者の健診・医療・介護等のデータを分析し、課題から実施可能な目標値をPDCAの観点で実施する保健事業実施計画（第2期データヘルス計画）に基づき事業を行っています。（巻末資料参照）

令和3年3月には中間評価を実施しました。

7. 歯周病検診

歯周病は、中高年の9割がかかっていると言われており、自覚症状の薄いまま進行し、歯の喪失だけでなく、ひどくなれば心臓病や糖尿病、脳梗塞等の全身疾患に関与していることも指摘されています。

市民の歯周疾患の予防・早期発見をし、歯の喪失予防や口腔衛生の保持に努めていきます。

(1) 実施方法

- 対象者 令和3年度中に30・40・50・60・70歳になる市民 対象者1,830名
- 検診料金 500円
- 実施期間 令和3年5月1日から令和4年2月28日まで
- 実施医療機関 市内歯科医療機関（11ヶ所）
- 受診方法 4月に検診の案内を対象者に一斉送付し、受診希望者は自身で医療機関へ予約し受診する。

(2) 受診者数の年次推移

(人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
男	49	53	38	51	43
女	99	97	92	91	77
合計	148	150	130	142	120
対象者	2,018	2,010	1,934	1,940	1,830
受診率	7.3%	7.5%	6.7%	7.3%	6.6%

(3) 令和3年度検診結果

(人)

(人)

年齢	性別	受診者数	対象者	受診率 (%)	検診結果内訳			歯肉の状況 (重複あり)		
					異常なし	要指導者数	要精検者数	歯肉出血	歯石あり	進行した歯周炎
30歳	男	4	258	3.9	1	0	3	3	3	1
	女	6			1	0	5	3	3	0
40歳	男	8	347	5.2	1	0	7	5	7	4
	女	10			2	1	7	4	8	2
50歳	男	12	415	8.7	1	0	11	9	11	6
	女	24			3	6	15	10	20	7
60歳	男	8	351	6.6	0	0	8	6	6	4
	女	15			0	3	12	11	13	5
70歳	男	11	459	7.2	1	1	9	9	11	4
	女	22			2	2	18	8	17	4
合計	男	43	1830	6.6	4	1	38	32	38	19
	女	77			8	12	57	36	61	18
総計		120			12	13	95	68	99	37

対象者1,830人のうち、受診者は120人で受診率は6.6%と低い状況です。

年齢別でみると、50歳の受診率が8.7%と一番高い受診率でした。

結果は、異常がないとの判定の人は受診者の0.7%と低く、約8割の人は精密な検査が必要との判定でした。歯肉の状況が健全な人は受診者の25%でした。

検診未受診者が多いため、疾患の発症を予防する一次予防が重要であることを広く普及し、節目年齢時に検診や保健指導等受診者を増やすよう、受診勧奨に努めています。

Ⅲ がん検診事業

1. 胃検診

平成28年度から国のがん検診指針において、胃検診は胃エックス線検査(バリウム検査)に加え、胃内視鏡検査(胃カメラ検査)も対策型検診として認められました。

東御市では先進的に胃カメラ検査を導入していましたが、この指針の改定に伴い、40～79歳の者にはバリウム検査を実施し、50、55、60、65、70、75歳の年齢に該当する者はバリウム検査の他、胃カメラ検査が選択できる方式に改訂しました。

ピロリ菌の有無や胃の委縮を検査し、胃がんのリスクを判定するABC検査は令和3年度より胃内視鏡検査を行う際のオプション検査としました。

胃がんのハイリスク者に対し、医師の指示に基づく検診間隔で検診を案内する胃管理検診は、受診者が約2～3割程度と少なく、胃管理検診対象者は市の検診の対象外となるため、検査を受ける機会が少ない状況でした。令和3年度から市の検診の受診ができるよう枠を広げたため胃管理検診は廃止しました。

胃内視鏡検診運営委員会(仮称)準備会は、新型コロナウイルス感染症の流行及び新たな情報共有内容がないため開催しませんでした。

(1) 実施方法

①胃バリウム検査(集団)

○対象者 : 東御市に住所を有し、40～79歳に達する者

○申込者数 : 864人

○検診料金 : 1,000円

○実施期間 : 令和3年8月2日(月)、10月29日(金)、11月11日(木)、令和4年1月7(金)、1月12日(水)、1月17日(月)、2月2日(水)、2月21日(月)

○実施場所 : 中央公民館、市保健センター

[検診実施結果]

単位:人 (()内は重複者)

年齢	性別	受診者数	異常なし	要精密検査者数	精密検査受診者数	精検受診者の結果内訳(※癥痕を含む)								精検未受診者数
						胃がん	胃潰瘍※	十二指腸潰瘍※	胃炎	胃ポリープ	その他	診断未記入	異常なし	
40～44	男	25	21	4	4	0	0	0	1	0	1	0	2	0
	女	24	23	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
45～49	男	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	34	33	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
50～54	男	18	14	4	3	0	0	0	2	(1)	(1)	0	1	1
	女	24	22	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1
55～59	男	16	14	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	女	19	16	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
60～64	男	12	11	1	1	0	0	0	1	0	(1)	0	0	0
	女	28	27	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
65～69	男	44	38	6	5	0	0	0	4	1(1)	(1)	0	0	1
	女	43	40	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
70～74	男	53	39	14	8	0	1	0	4	1	2(1)	0	0	6
	女	29	27	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
75～79	男	23	17	6	3	0	0	0	2	0	0	0	1	3
	女	28	26	2	2	0	0	0	1	1(1)	0	0	0	0
合計	男	208	171	37	26	0	1	0	15	3(2)	3(4)	0	4	11
	女	229	214	15	8	0	0	0	3	2(1)	1	0	2	7
総計		437	385	52	34	0	1	0	18	5(3)	4(4)	0	6	18

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

②胃カメラ検査(個別)

○対象者 : 東御市内に住所を有し、年度内に50、55、60、65、70、75歳に達する者。

○申込者数 : 174人

○検診料金 : 5,000円

○実施期間 : 令和3年6月1日～令和4年3月31日

○実施場所 : 市内指定医療機関

[検診実施結果]

単位:人 (()内は重複者)

年齢	性別	受診者数	胃カメラ検査受診者の結果内訳(※瘢痕を含む)							
			胃がん	胃潰瘍※	十二指腸潰瘍※	胃炎	胃ポリープ	その他	診断未記入	異常なし
50歳	男	2	0	0	0	1	1(1)	0	0	0
	女	7	0	1	0	3	0	1	0	2
55歳	男	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	5	0	0	0	4	1(1)	(1)	0	0
60歳	男	4	0	0	0	4	(1)	0	0	0
	女	5	0	0	0	4	(1)	0	0	1
65歳	男	6	0	0	0	4	1(1)	1(1)	0	0
	女	3	0	0	0	2	1	0	0	0
70歳	男	5	0	0	0	4	1	(2)	0	0
	女	4	0	0	0	4	(1)	0	0	0
75歳	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	6	0	0	0	1	5	(1)	0	0
合計	男	18	0	0	0	13	3(2)	1(3)	0	1
	女	30	0	1	0	18	7(3)	1(2)	0	3
総計		48	0	1	0	31	10(5)	2(5)	0	4

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

(2) 精密検査受診勧奨

精密検査未受診者に受診勧奨を実施しました。

精密検査者数	令和4年3月末現在		令和4年5月末現在	
	精密検査受診者数	精検受診率	精密検査受診者数	精検受診率
52	29	55.8%	34	65.4%

2. 大腸がん検診

大腸がん検診は、便潜血反応検査（2日法）によって40歳以上を対象に実施しています。

検診を受けやすくするため、申し込み不要とし、直接医療機関に行き受診できる個別検診の体制をとっています。

（1）実施方法

○対象者：市内に住所を有する40歳以上の者、申込者：2,531名

○検診料金：600円

○実施期間：令和3年6月1日～令和4年1月31日

○検診場所：市内指定医療機関

① 受診者と精密検査結果の年次推移

単位：人

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
受診者数	1,376	1,305	1,296	1,243	1,241
異常なし	1,288	1,228	1,209	1,170	1,157
要精密検査者数	79	77	87	73	84
精密検査結果	大腸がん	3	2	1	4
	ポリープ	26	23	20	31
	大腸憩室	3	4	3	2
	肛門疾患	4	5	5	6
	その他	2	0	1	2
	診断未記入	4	0	1	0
	異常なし	15	19	13	15
	未受診者	22	24	28	24

（2）検診実施状況

単位：人

年齢	性別	受診者数	異常なし	要精密検査者数	精密検査受診者数	精検結果の内訳							精検未受診者数
						大腸がん	ポリープ	大腸憩室	肛門疾患	その他	診断未記入	異常なし	
40～44	男	11	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	33	31	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1
45～49	男	22	21	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	女	44	40	4	3	0	0	0	2	0	0	1	1
50～54	男	19	16	3	1	0	0	0	0	0	0	1	2
	女	50	47	3	3	1	2	0	0	0	0	0	0
55～59	男	28	26	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0
	女	59	55	4	4	0	2	0	1	0	0	1	0
60～64	男	27	24	3	2	0	2	0	0	0	0	0	1
	女	85	84	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
65～69	男	94	89	5	5	1	3	0	0	0	0	1	0
	女	152	146	6	4	0	3	0	0	0	0	1	2
70～74	男	125	114	11	8	0	7	0	0	0	0	1	3
	女	196	183	13	9	0	2	2	2	0	0	3	4
75～79	男	65	59	6	3	1	2	0	0	0	0	0	3
	女	106	99	7	5	0	2	0	1	1	0	1	2
80以上	男	64	55	9	5	0	1	0	0	0	0	4	4
	女	62	59	3	3	1	1	0	0	1	0	0	0
合計	男	455	414	41	27	2	18	0	0	0	0	7	14
	女	787	744	43	33	2	13	2	6	2	0	8	10
総計		1242	1158	84	60	4	31	2	6	2	0	15	24

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

（2）精密検査受診勧奨

精密検査未受診者に受診勧奨を実施しました。

精密検査者数	令和4年3月末現在		令和4年5月末現在	
	精密検査受診者数	精検受診率	精密検査受診者数	精検受診率
84	56	66.7%	60	71.4%

3. 肺がん検診（胸部低線量CT検診）

肺がんによる死亡者数が増加傾向である中、胸部レントゲン検診では見つけることのできなかった、骨や心臓などの陰に隠れた肺がんや小さな肺がんをも見つけることができる精度の高い検診です。
平成31年度から集団検診はJA厚生連 鹿教湯三才山病院リハビリテーションセンター鹿教湯病院の検診車による検診を導入しました。

（1）実施状況

○対象者 : 41歳以上の奇数年齢になる者 申込者 837人

○検査料金 : 個別検診…5,000円 集団検診…4,000円

○検診期間・場所

個別検診	期間	令和3年6月1日～令和4年3月31日
	場所	柵津診療所、東御市民病院
集団検診	期間	令和3年7月8日、8月12日、9月9日、9月24日、11月5日
	場所	中央公民館

① 受診者と精密検査結果の年次推移

単位：人

		H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
受診者数		429	421	415	399	410
異常なし		336	312	342	360	364
要精密検査者		93	109	73	39	46
精密検査結果	肺がん	0	1	0	1	1
	肺がん疑い	3	3	4	4	5
	肺結核治癒 (H27～陳旧性炎症性変化を含む)	16	15	9	1	3
	その他呼吸器疾患	33	26	22	9	17
	循環器疾患	1	4	0	1	0
	その他の疾患	13	25	3	2	2
	異常なし	14	16	18	3	7
	未受診者	13	19	17	18	11

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

② 精密検査対象者の検診結果と精密検査結果の状況

単位：人（（ ）内は重複者）

		精密検査対象者の検査結果							精検 未受診
		肺がん	肺がん 疑い	陳旧性 炎症性 変化	その他 呼吸器 疾患	循環器 疾患	その他 の疾患	異常 なし	
精密検査対象者の内訳	肺がん疑い	1	4	1	6	0	0	2	2
	その他呼吸器疾患疑い	0	1	2	9	0	0	4	3
	循環器疾患疑い	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他の疾患疑い	0	0	0	2	0	2	1	5
	合計	1	5	3	17	0	2	7	11

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

③ 検診実施状況実施状況（集団・個別検診結果集計）

単位：人

年齢	性別	受診者数	異常なし	要精密検査者数	精密検査受診者	精密検査受診者の結果内訳						精検未受診者数
						異常なし	肺がん (疑い含む)	陳旧性炎症性変化	その他呼吸器疾患	循環器疾患	その他の疾患	
40～44	男	14	13	1	1	0	0	0	1	0	0	0
	女	26	25	1	1	0	0	0	1	0	0	0
45～49	男	18	17	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	43	39	4	2	0	0	0	2	0	0	2
50～54	男	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	27	26	1	0	0	0	0	0	0	0	1
55～59	男	30	27	3	3	0	1	1	1	0	0	0
	女	33	30	3	3	2	0	0	1	0	0	0
60～64	男	16	15	1	1	0	0	0	1	0	0	0
	女	26	24	2	2	1	1	0	0	0	0	0
65～69	男	35	31	4	3	1	0	0	2	0	0	1
	女	35	33	2	1	0	1	0	0	0	0	1
70～74	男	16	13	3	3	2	0	0	1	0	0	0
	女	23	18	5	5	1	0	1	2	0	1	0
75～79	男	15	12	3	1	0	0	0	1	0	0	2
	女	16	12	4	2	0	1	0	0	0	1	2
80以上	男	12	9	3	2	0	0	0	2	0	0	1
	女	11	6	5	5	0	2	1	2	0	0	0
合計	男	170	151	19	14	3	1	1	9	0	0	5
	女	240	213	27	21	4	5	2	8	0	2	6
総計		410	364	46	35	7	6	3	17	0	2	11

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

④ 実施状況再計 個別(医療機関)

単位：人

年齢	性別	受診者数	異常なし	要精密検査者数	精密検査受診者	精密検査受診者の結果内訳						精検未受診者数
						異常なし	肺がん (疑い含む)	陳旧性炎症性変化	その他呼吸器疾患	循環器疾患	その他の疾患	
40～44	男	7	6	1	1	0	0	0	1	0	0	0
	女	15	14	1	1	0	0	0	1	0	0	0
45～49	男	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	19	17	2	1	0	0	0	1	0	0	1
50～54	男	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55～59	男	20	18	2	2	0	1	1	0	0	0	0
	女	16	14	2	2	2	0	0	0	0	0	0
60～64	男	10	9	1	1	0	0	0	1	0	0	0
	女	17	16	1	1	1	0	0	0	0	0	0
65～69	男	21	17	4	3	1	0	0	2	0	0	1
	女	18	17	1	1	0	1	0	0	0	0	0
70～74	男	8	5	3	3	2	0	0	1	0	0	0
	女	11	7	4	4	1	0	1	1	0	1	0
75～79	男	6	3	3	1	0	0	0	1	0	0	2
	女	10	6	4	2	0	1	0	0	0	1	2
80以上	男	5	2	3	2	0	0	0	2	0	0	1
	女	7	2	5	5	0	2	1	2	0	0	0
合計	男	94	77	17	13	3	1	1	8	0	0	4
	女	121	101	20	17	4	4	2	5	0	2	3
総計		215	178	37	30	7	5	3	13	0	2	7

※令和5年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

⑤ 実施状況再計 集団（鹿教湯病院の検診バスによる実施）

単位：人

年齢	性別	受診者数	異常なし	要精密検査者数	精密検査受診者	精密検査受診者の結果内訳						精検未受診者数
						異常なし	肺がん (疑い含む)	陳旧性炎症性変化	その他呼吸器疾患	循環器疾患	その他の疾患	
40～44	男	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49	男	11	10	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	24	22	2	1	0	0	0	1	0	0	1
50～54	男	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	19	18	1	0	0	0	0	0	0	0	1
55～59	男	10	9	1	1	0	0	0	1	0	0	0
	女	17	16	1	1	0	0	0	1	0	0	0
60～64	男	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	9	8	1	1	0	1	0	0	0	0	0
65～69	男	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	17	16	1	0	0	0	0	0	0	0	1
70～74	男	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	12	11	1	1	0	0	0	1	0	0	0
75～79	男	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80以上	男	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	76	74	2	1	0	0	0	1	0	0	1
	女	119	112	7	4	0	1	0	3	0	0	3
総 計		195	186	9	5	0	1	0	4	0	0	4

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

(2) 精密検査受診勧奨

精密検査未受診者に受診勧奨を実施しました。

精密検査者数	令和4年3月末現在		令和4年5月末現在	
	精密検査受診者数	精検受診率	精密検査受診者数	精検受診率
46	34	73.9%	35	76.1%

4. 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診では、子宮頸がんを見つけるための子宮頸管部(子宮の入り口)の細胞を採取して検査をする細胞診検査を実施しています。

平成27年度から、受診者の利便性を向上させるため、東御市の他、上田市および小諸市の産婦人科でも子宮頸がん検診を受診できるようにしました。また、受診可能な医療機関が増加したため、検査内容は国の基準に準じ、子宮頸部の細胞診に統一しました。

令和2年度から40歳・50歳代の受診率の向上を図るため、年度年齢46歳、50歳の個人負担額の軽減(検診車の受診のみ)を行いました。

(1)実施方法

○対象者：20歳～29歳の女性

30歳以上で年度内に偶数年齢になる女性

○申込者：個別検診 970名 集団検診 256名 46歳・50歳(集団検診) 94名

○検診料金：個別…2,000円、集団…1,500円 46歳・50歳の集団検診受診者…1,000円

○検診内容：医師の診察・細胞診検査

○検診期間と場所

個別検診	期間	令和3年5月1日～令和4年2月28日
	場所	指定医療機関(東御市・上田市・小諸市)
集団検診	期間	令和3年7月19日、7月28日、9月30日、10月25日、12月1日、令和4年2月24日
	場所	滋野コミュニティーセンター、和コミュニティーセンター、保健センター、中央公民館

○子宮頸がん無料クーポン検診 令和3年度対象者 105人

平成21年度より特定の年齢の方に無料クーポン券を配布し、無料検診を実施。

(令和3年度対象者は、令和4年4月1日現在の満年齢で、21歳の女性)

①受診者と精密検査結果の年次推移

単位：人

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
細胞診検査受診者数	852	926	898	895	843
異常なし	847	914	884	887	821
要精密検査者	5	12	14	8	22
腫瘍 ※ 上皮内	CIN1	3	1	0	2
	CIN2	1	0	2	2
	CIN3 (上皮内癌含む)	0	1	1	3
子宮頸がん(上皮内癌以外)	0	0	0	0	0
その他	0	1	1	0	0
異常なし	1	5	4	2	9
未受診者	0	4	5	3	6
子宮頸がん無料クーポン 検診対象者	131	145	134	128	105
子宮頸がん無料クーポン 検診受診者(再掲)	10	16	12	14	6

※子宮頸部上皮内腫瘍cervical intraepithelial neoplasia (CIN)とも表現され、軽度異形成をCIN1、中等度異形成をCIN2、高度異形成と上皮内がんをCIN3とする。

②検診実施状況（個別・集団検診結果集計）

単位：人

年齢	受診者数	NILM (異常なし)	ASC-US	ASC-H	LSIL (軽度)	HSIL(中等度 上皮内癌)	SCC (扁平上皮癌)	AGC(腺異形、 腺癌疑い)	AIS (上皮内腺癌)	AdenoCa (腺癌)	Other (その他の癌)	要精検者数	精検受診者数	精検受診者の結果内訳							精検未受診者数
														頸がん	頸がん疑い	CIN1	CIN2	CIN3	その他	異常なし	
20～24	19	17	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	1	0
25～29	49	48	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
30～34	46	44	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
35～39	57	51	1	2	3	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	2	2	1	0	1	0
40～44	98	96	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1
45～49	56	55	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
50～54	115	111	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	3	1
55～59	60	59	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
60～64	111	109	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	1	0
65～69	87	86	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
70～74	103	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	29	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80以上	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	843	821	8	5	4	3	0	2	0	0	0	22	18	0	0	3	2	4	0	9	4

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

③子宮頸がん無料クーポン検診集計 (①のうち数再掲)

単位：人

年齢	受診者数	異常なし	要精検者数	精検受診者数	精検受診者の結果内訳					
					頸がん	CIN1	CIN2	CIN3	その他	異常なし
20(21)	6	6	0	—	—	—	—	—	—	—

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

④子宮頸がん無料クーポン検診年次推移

単位：人

年齢	H29年度		H30年度		H31年度		R2年度		R3年度	
	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者
20(21)	131	10	145	16	134	12	128	14	105	6

⑤実施状況再計 個別（委託医療機関にて実施）

単位：人

年齢	受診者数	NILM (異常なし)	ASC・US	ASC・H	LSIL (軽度)	HSIL(中等度 上皮内癌)	SCC (扁平上皮癌)	AGC(腺異形、 腺癌疑い)	AIS (上皮内腺癌)	AdenoCa (腺癌)	Other (その他の癌)	要 精 検 者 数	精 検 受 診 者 数	精検受診者の結果内訳							精 検 未 受 診 者 数
														頸がん	頸がん疑い	CIN1	CIN2	CIN3	その他	異常なし	
20～24	19	17	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	1	0
25～29	48	47	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
30～34	36	34	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
35～39	42	38	1	2	0	1	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	2	1	0	1	0
40～44	78	77	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
45～49	39	38	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
50～54	91	87	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	3	1
55～59	40	39	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
60～64	70	69	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
65～69	50	49	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
70～74	68	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80以上	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	604	586	8	5	0	3	0	2	0	0	0	18	15	0	0	1	2	3	0	9	3

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

⑥実施状況再計 集団（長野県健康づくり事業団の検診バスにて実施）

単位：人

年齢	受診者数	(異常なし) NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL (軽度)	HSIL(中等度 上皮内癌)	SSC (扁平上皮癌)	AGC(腺異形、 腺癌疑い)	AIS (上皮内腺癌)	AdenoCa (腺癌)	Other (その他の癌)	要精検者数	精検受診者数	精検受診者の結果内訳							精検未受診者数
														頸がん	頸がん疑い	CIN1	CIN2	CIN3	その他	異常なし	
20～24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	15	13	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0
40～44	20	19	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
45～49	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～54	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55～59	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64	41	40	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
65～69	37	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	35	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80以上	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	239	235	0	0	3	1	0	0	0	0	0	4	3	0	0	2	0	1	0	0	1

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

(2)精密検査受診勧奨

精密検査未受診者に受診勧奨を実施しました。

精密検査者数	令和4年3月末現在		令和4年5月末現在	
	精密検査受診者数	精検受診率	精密検査受診者数	精検受診率
22	14	63.6%	18	81.8%

5. 乳がん検診（マンモグラフィ検査）

乳がん検診（マンモグラフィ検査）は、乳房を板に挟んでレントゲン撮影をする検査です。視触診ではわからない小さなしこりもわかります。

乳がんは食事の欧米化等によって増加しているがんでもあり、今後も検診の受診勧奨に努めていく必要があります。

令和2年度から40歳・50歳代の受診率の向上を図るため、年度年齢46歳、50歳の個人負担額の軽減（検診車の受診のみ）を行いました。

（1）実施方法

○対象者：40歳以上で偶数年齢になる女性

○申込者：個別検診…621人 集団検診…252名 46歳・50歳（集団検診）…99名

○検査内容：乳房エックス線撮影（マンモグラフィ検査）…2方向撮影

○検査料金：個別検診…3,000円 集団検診…2,500円 46歳・50歳の集団検診受診者…1,000円

○検診期間と場所

個別検診	期間	令和3年5月1日～令和4年3月31日
	場所	東御市民病院
集団検診	期間	令和3年7月1日、9月13日、10月18日、11月22日、令和4年1月24日、3月2日
	場所	和コミュニティーセンター、滋野コミュニティーセンター、保健センター、中央公民館

○乳がん無料クーポン検診 令和3年度対象者 161人

平成21年度より特定の年齢の方に無料クーポン券を配布し、無料検診を実施

（令和3年度対象者は、令和4年4月1日現在の満年齢で、41歳の女性）

①受診者と精密検査結果の年次推移

単位：人

		H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
受診者数		734	754	705	658	662
異常なし		590	636	644	587	586
要精密検査者		144	118	61	71	76
精密検査結果	乳がん	3	3	2	1	0
	繊維腺腫	9	6	0	4	3
	乳腺症	12	13	4	2	5
	のう胞	9	10	7	4	10
	その他	13	4	5	11	11
	異常なし	86	68	34	30	39
	未受診者	12	14	9	19	8
乳がん無料クーポン検診対象者		163	210	189	171	161
クーポン検診受診者（再掲）		50	61	43	37	26

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

②乳がん検診（全体）

単位：人

年齢	受診者数	異常なし	要精密検査者数	精密検査受診者数	精検受診者の結果内訳						精検未受診者数
					乳がん	繊維腺腫	乳腺症	のう胞	その他	異常なし	
40～44	102	88	14	12	0	0	1	2	3	6	2
45～49	70	54	16	16	0	0	3	5	3	5	0
50～54	112	96	16	11	0	0	0	1	2	8	5
55～59	44	37	7	7	0	0	0	1	1	5	0
60～64	104	99	5	5	0	0	1	1	0	3	0
65～69	81	75	6	6	0	0	0	0	0	6	0
70～74	103	97	6	5	0	2	0	0	0	3	1
75～79	32	28	4	4	0	0	0	0	1	3	0
80以上	14	12	2	2	0	1	0	0	1	0	0
総計	662	586	76	68	0	3	5	10	11	39	8

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

③乳がん無料クーポン券検診集計（①のうち数再掲）

単位：人

年齢	受診者数	異常なし	要精密検査者数	精密検査受診者数	精検受診者の結果内訳						
					乳がん	線維腺腫	乳腺症	のう胞	その他	異常なし	未受診
41	26	19	7	6	0	0	0	2	1	3	1

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

④乳がん無料クーポン検診年次推移

単位：人

年齢	H29年度		H30年度		H31年度		R2年度		R3年度	
	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者
41	163	50	210	61	189	43	171	37	161	26

⑤実施状況再計 個別（医療機関）

単位：人

年齢	受診者数	異常なし	要精密検査者数	精密検査受診者数	精検受診者の結果内訳						精検未受診者数
					乳がん	線維腺腫	乳腺症	のう胞	その他	異常なし	
40～44	76	65	11	9	0	0	1	2	2	4	2
45～49	35	26	9	9	0	0	0	4	1	4	0
50～54	69	56	13	11	0	0	0	1	2	8	2
55～59	27	25	2	2	0	0	0	1	0	1	0
60～64	67	64	3	3	0	0	0	0	0	3	0
65～69	49	45	4	4	0	0	0	0	0	4	0
70～74	74	70	4	3	0	0	0	0	0	3	1
75～79	22	19	3	3	0	0	0	0	1	2	0
80以上	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	427	378	49	44	0	0	1	8	6	29	5

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

⑥実施状況再計 集団（長野県健康づくり事業団の検診バスにて実施）

単位：人

年齢	受診者数	異常なし	要精密検査者数	精密検査受診者数	精検受診者の結果内訳						精検未受診者数
					乳がん	線維腺腫	乳腺症	のう胞	その他	異常なし	
40～44	26	23	3	3	0	0	0	0	1	2	0
45～49	35	28	7	7	0	0	3	1	2	1	0
50～54	43	40	3	0	0	0	0	0	0	0	3
55～59	17	12	5	5	0	0	0	0	1	4	0
60～64	37	35	2	2	0	0	1	1	0	0	0
65～69	32	30	2	2	0	0	0	0	0	2	0
70～74	29	27	2	2	0	2	0	0	0	0	0
75～79	10	9	1	1	0	0	0	0	0	1	0
80以上	6	4	2	2	0	1	0	0	1	0	0
総計	235	208	27	24	0	3	4	2	5	10	3

※令和4年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

（2）精密検査受診勧奨

精密検査未受診者に受診勧奨を実施しました。

精密検査者数	令和4年3月末現在		令和4年5月末現在	
	精密検査受診者数	精検受診率	精密検査受診者数	精検受診率
76	49	64.5%	68	89.5%

IV 感染症対策事業

1. 予防接種接種状況

(1) 定期予防接種

定期予防接種は、法律に基づいて、伝染のおそれがある疾病の発生と蔓延を予防し、乳幼児・学童・高齢者を疾病から守るために実施しています。

(実人数)

定期予防接種名 (実施時期)			対 象 者	対象者数	接種者数	接種率
ロタウイルス	ロタリックス	1回目	出生6週～24週 ※令和2年10月から開始	189	159	84.1%
		2回目		189	157	83.1%
	ロタテック	1回目	出生6週～32週 ※令和2年10月から開始	189	22	11.6%
		2回目		189	25	13.2%
		3回目		189	27	14.3%
B 型 肝 炎		1回目	出生時～1歳に至るまで (標準は生後2か月～8か月)	189	185	97.9%
		2回目		189	187	98.9%
		3回目		195	192	98.5%
ヒ ブ		1回目	生後2か月～5歳に至るまで (至るまで…誕生日の前日)	189	185	97.9%
		2回目		189	186	98.4%
		3回目		189	184	97.4%
		追 加		214	174	81.3%
小児用肺炎球菌		1回目	生後2か月～5歳に至るまで	189	185	97.9%
		2回目		189	186	98.4%
		3回目		189	184	97.4%
		追 加		214	169	79.0%
四 種 混 合		1回目	生後3か月～7歳半に至るまで	189	184	97.4%
		2回目		189	188	99.5%
		3回目		189	189	100.0%
		追 加		214	178	83.2%
B C G			生後3か月～1歳に至るまで (標準は生後5か月～8か月)	195	186	95.4%

定期予防接種名 (実施時期)		対 象 者	対象者数	接種者数	接種率
麻しん風しん混合	1 期	1歳～2歳に至るまで	214	176	82.2%
	2 期	小学校入学前の1年間	226	211	93.4%
水 痘	初 回	1歳～3歳に至るまで	214	177	82.7%
	追 加		213	182	85.4%
日 本 脳 炎	1回目	生後6か月～7歳半に至るまで 標準は3歳～4歳	257	94	36.6%
	2回目		262	96	37.4%
	追 加		203	101	49.8%
	2 期	標準は9歳～13歳未満 1期終了者で希望者	261	87	33.3%
二 種 混 合		11歳以上13歳未満	263	211	80.2%
子 宮 頸 がん	1回目	小6～高1年齢相当 (期間中3回接種)	660	69	10.5%
	2回目		660	64	9.7%
	3回目		660	48	7.3%
季節性インフルエンザ (10月～1月)		65歳以上及び 60歳～64歳の特定対象者	9,560	5,782	60.5%
高齢者用肺炎球菌		65・70・75・80・85・90・ 95・100歳の者 60歳～64歳の特定対象者	1,175	344	29.3%

- ・予防接種法と感染症法に基づく「風しんに関する特定感染症予防指針」により麻しん風しん混合ワクチン接種（第1期及び第2期）について95%以上の接種を目標とし、接種勧奨を行いました。なお、麻しん及び風しんの単独接種はありませんでした。
- ・日本脳炎予防接種は平成17年～21年度の積極的勧奨の差し控えにより接種を受けられなかった方に対し、国は、7歳半～9歳未満の年齢枠を解消し、平成7年4月2日生～平成19年4月1日生の方に20歳までの間、未接種回数を定期接種としました。2期は希望者に接種することになっています。
- ・日本脳炎ワクチンを製造している2社のうち、1社のワクチン製造が一時停止した影響を受けて、令和3年度はワクチン供給量が大幅に減少しました。国の方針に基づき、1期の1回目・2回目接種及び定期接種として接種が受けられる年齢の上限が近づいている者の接種が優先され、接種者数が減少しました。
- ・ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な陣痛がヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン接種後に特異的にみられたことから、平成25年6月15日から子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨を差し控えています。
専門家による調査や検討が行われ、安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたことから、令和4年度からの積極的な勧奨の再開が決定されました。

(2) 風しんの追加的対策

風しんの流行を防ぐため、公的な予防接種を受ける機会のなかった世代の成人男性を対象に、平成31年度より3年間、「風しんの追加的対策」を実施します。

対象者に抗体検査を実施し、抗体価が低いと判断された方に予防接種を実施しています。

実施項目	対 象 者	対象者数	実施者数	実施率
風しん抗体検査	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性 ※平成31年度は昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの方にクーポンを送付。	2,420	269	11.1%
風しん第5期予防接種	抗体検査を実施した者のうち、検査の結果十分な抗体がないと判断された者	115	57	49.6%

2. 胸部レントゲン検診 実施状況

感染症法により、年に1回は結核に係る健康診断を受けなければならないとされており、市では、65歳以上の方を対象に、胸部エックス線検査を行っています。

対象者：65才以上の者（事業者等が行う健康診断を受ける者を除く。）5,597人

内 容：レントゲン検診車による市内巡回集団検診

実施日：〔東部〕8月23日から8月27日の平日5日間 〔北御牧〕11月10日、11月11日

（1）受診者と精密検査対象者年次推移

単位：人

		令和2年度			令和3年度		
		男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計
受 診 者 数		685	992	1,677	728	981	1,709
異 常 な し		590	910	1,500	640	884	1,524
要 観 察		66	58	124	66	77	143
要精密検査対象者		29	24	53	22	20	42
要精密検査対象者の内訳 (再掲)	読 影 不 能	0	0	0	0	0	0
	肺 結 核 疑 い	0	0	0	0	0	0
	他呼吸器疾患疑い	10	11	21	17	11	28
	循環器疾患疑い	2	0	2	0	0	0
	他 疾 患 疑 い	0	1	1	0	0	0
	腫 瘍 疑 い	17	12	29	5	9	14
精密検査未受診者		10	3	13	8	8	16

（2）令和3年度精密検査結果（実人数）

単位：人

年 齢	性 別	受診者数	要精密検査者数	精密検査受診者数	精検受診者の結果内訳									
					異常なし	肺原がん性	肺転移性	悪性腫瘍その他	肺がん疑い	AAH疑い	肺結核腫	肺結核疑い	肺結核治癒	その他
65～69	男	120	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	191	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	217	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女	305	7	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
75～79	男	179	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女	225	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
80以上	男	212	11	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	女	260	8	5	1	0	0	0	2	0	0	0	0	2
合計	男	728	22	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	女	981	20	12	4	0	0	0	2	0	0	0	0	6
総計		1,709	42	26	6	0	0	0	2	0	0	0	0	18

※年齢は健診当日・精密検査当日の年齢です。

※AAH：肺異型腺腫瘍過形成

※精密検査対象者に電話かけをし、受診の勧奨をしました。

（3）結核登録管理状況（令和3年12月31日現在 上田保健福祉事務所調べ）

登録患者数： 5人

新発生： 3人

3. 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 感染防止対策全般

ア. 主な経過

月日	実施事項等
【国・県】	
4月8日	全県に医療警報発出
4月23日	「新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言」発出
5月14日	上田圏域に感染警戒レベル4「特別警報Ⅰ」発出
6月8日	全県の医療警報解除
7月31日	上田圏域に感染警戒レベル4「特別警報Ⅰ」発出
8月6日	全県に医療警報発出
8月20日	全県に感染警戒レベル5「特別警報Ⅱ」発出
9月3日	「命と暮らしを救う集中対策期間」(～12日)
9月30日	「緊急事態宣言」解除
10月19日	上田圏域の感染警戒レベルを1に引き下げ
令和4年	
1月6日	全県に感染警戒レベル3「新型コロナ警報」発出
1月18日	東御市、上田市に感染警戒レベル5「特別警報Ⅱ」発出
1月26日	全県にまん延防止等重点措置を適用。感染警戒レベル6(～3月6日)
3月7日	上田圏域を感染警戒レベル5として注意喚起
【市の経過】	
4月1日～	3月21日緊急事態宣言の解除以降、任意の対策本部設置
4月23日	緊急事態宣言に伴い特措法に基づく東御市対策本部を設置
8月6日	第12回対策本部会議
8月29日	第13回対策本部会議
9月30日	緊急事態の解除に伴い特措法に基づく対策本部を廃止、任意の対策本部に切替え
10月～1月	陽性者早期発見促進事業実施。希望者に抗原検査キットを配布 →ワクチン接種できない小学生1,000人、感染不安のある市民550人
随時	感染状況に応じた公共施設の利用制限(所管各課等) 感染状況に係る情報提供及び注意喚起、感染防止対策の周知、普及 アルコール消毒液等衛生資材の購入

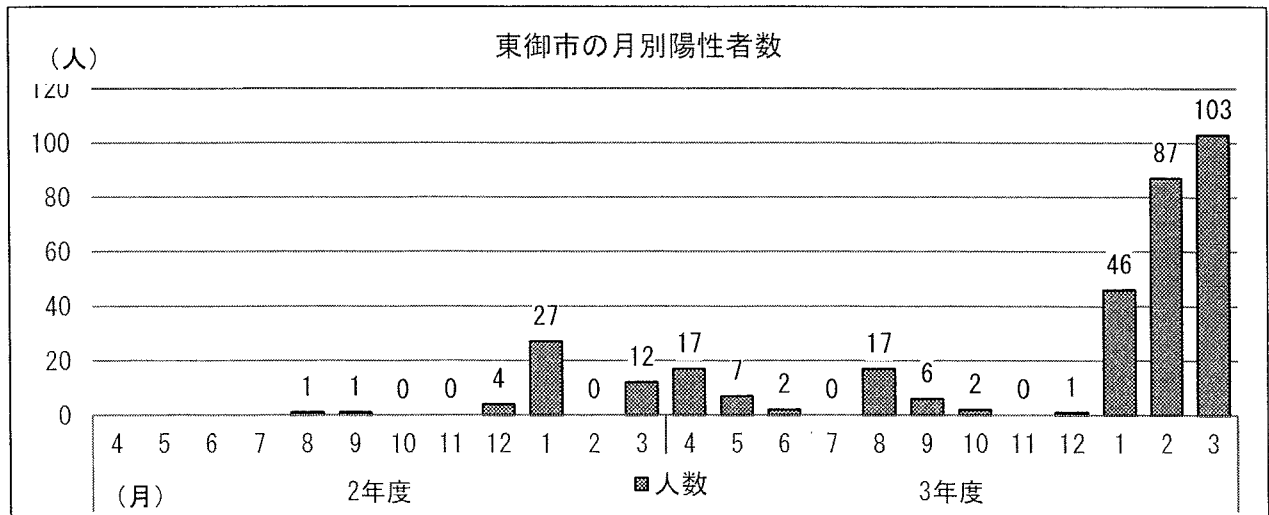
イ. 陽性者の状況

	2年度	3年度	累計
長野県	2,796	41,193	43,991
上田圏域	348	3,088	3,436
東御市	45	288	333

(参考) 陽性者公表日

1例目	100例目	200例目	300例目
R2.8.15	R4.1.8	R4.2.18	R4.3.23

⇒



(2) 新型コロナウイルスワクチン接種

ア. 主な経過

月日	実施事項等
4月19日	高齢者施設等入所者、従事者について施設巡回接種開始
4月20日	初回接種（1回目・2回目）接種券発送開始（65歳以上の方から順次）
5月7日	65歳以上の方の初回接種予約受付開始
5月17日	同上 集団接種開始（会場：総合福祉センター、北御牧庁舎）
7月1日	16歳～64歳の方の初回接種予約受付開始
7月12日	市内医療機関での個別接種開始
8月12日	北御牧会場集団接種終了
8月27日	12歳～15歳の初回接種予約受付開始
9月4日	12歳～18歳とその保護者を対象に「親子で接種デー」実施（延べ4日）
9月7日	北御牧会場で職域接種実施（商工会、商工観光課）
12月上旬	医療従事者の3回目追加接種開始
令和4年	
1月19日	高齢者施設等入所者、従事者の3回目追加接種開始 その他の18歳以上の方の3回目追加接種に係る接種券発送開始
1月24日	同上 3回目追加接種予約受付開始
1月31日	同上 3回目追加接種、65歳以上から順次開始
3月3日	5歳～11歳の小児の初回接種（1回目・2回目）予約受付開始
3月12日	同上 初回接種開始 12歳～17歳の3回目追加接種

イ. 令和3年度末時点の接種済率

(R4.4.1現在)

対象者人口		1回目		2回目		3回目		
R4.3.1現在		人数	率 (%)	人数	率 (%)	人数	率 (%)	対2回目率
年齢	A	B	B/A	C	C/A	D	D/A	D/C
5～11	1,722	186	10.8%	0	0.0%			
12～19	2,172	1,763	81.2%	1,731	79.7%	129	5.9%	7.5%
20～29	2,532	2,000	79.0%	1,980	78.2%	571	22.6%	28.8%
30～39	3,042	2,467	81.1%	2,446	80.4%	735	24.2%	30.0%
40～49	3,979	3,444	86.6%	3,427	86.1%	1,266	31.8%	36.9%
50～59	3,789	3,390	89.5%	3,385	89.3%	2,080	54.9%	61.4%
60～64	1,884	1,744	92.6%	1,740	92.4%	1,256	66.7%	72.2%
65～	9,464	8,961	94.7%	8,937	94.4%	8,057	85.1%	90.2%
計	28,584	23,955	83.8%	23,646	82.7%	14,094	49.3%	59.6%

※ 基準日現在の接種対象者のうち接種した者の数

※ 基準日以前の死亡、転出者の接種は含まれない

ウ. 令和3年度末までの接種総数

R3.1.1現在の人口		1回目		2回目		3回目	
A		人数	率 (%)	人数	率 (%)	人数	率 (%)
		B	B/A	C	C/A	D	D/A
29,929		24,740	82.7%	24,224	80.9%	15,078	50.4%

※ R4.5.31現在VRS（ワクチン接種記録システム）に登録されたR4.3.31までの接種総数

V 精神保健事業・自殺対策事業

1. 相談事業（こころの相談・精神保健相談）

目的：こころの健康に不安を持つ人や家族のために精神科医および精神保健福祉士による相談を行い、必要に応じて医療へつなげたり家族の対応について相談することを支援します。

実績：医師による相談件数 19 件（月 1 回予約制）

精神保健福祉士による相談件数 26 件（随時相談）

依頼病院 千曲荘病院 小諸高原病院

相談内容 ・家族との関わり方 ・受診相談 ・家族関係について

・ひきこもりの家族について ・産後の不安についての相談

人権よろず相談における「心の相談」 1 件（月 1 回）

よろず相談のメニューに保健師及びまいさぼ相談員による相談を設定した。

相談 1 件

2. 啓発事業

（1）心の健康づくり啓発事業（心の健康づくり講座） 全 3 回開催

目的：子育てをしている母親や支援者に、こころの健康や自分との向き合いについて考える場を提供し、こころの健康への関心を高めます。

講師：精神保健福祉士 荻野 紅葉氏

実績：令和 3 年度はコロナの影響で 1 回（1 月 12 日）のみ実施。参加者 延べ 5 人

会場 総合福祉センター2階 保健センター いきいきルーム

期 日	内 容
1 月 12 日（水） 2 月 2 日（水）	自分へのいたわりについて知り、自身が希望を持つためのグループワークを実施
1 月 19 日（水） 2 月 9 日（水）	自分がストレスを感じる時の引き金を知り、ストレスを感じた時に、注意サインについてグループワークを実施
1 月 26 日（水） 2 月 16 日（水）	自分ストレスに対して、自身がサポートをする・される・し合うことについてグループワークを実施

（2）地域啓発事業

目的：9 月の自殺予防週間と 3 月の自殺対策強化月間の県内一斉街頭啓発に合わせた啓発活動を実施します。

実績：なし（新型コロナウイルス感染予防のため中止）

内容：例年は田中駅前街頭啓発活動（自殺予防普及啓発ポケットティッシュの配布）

配布数：300 個 ※ゲートキーパー講座修了者 2～3 人に協力依頼

(3) 精神保健講演会

目的：働き盛りのうつ、自殺予防のための知識を市民に知ってもらう機会として情報を提供します。

演題：「働きざかりのセルフケアについて」

講師：佐久大学看護学部・大学院研究科 准教授 朴 相俊 氏

実績：開催日時 3月3日（木）午後1時30分～午後3時30分

会場 総合福祉センター3階 講堂

→新型コロナウイルスまん延防止措置期間中につき、講演会形式は中止とし録画したものをインターネット配信した。

3. 人材育成講座

(1) ゲートキーパー育成事業（ゲートキーパー人材育成講座）

目的：自殺のサインに気づくゲートキーパーを育成するための知識やスキルを提供します。

講師：佐久大学看護学部・大学院研究科 准教授 朴 相俊 氏

実績：参加者 延べ16人（実人数6人）（令和3年度までの修了生 219人）

会 場 総合福祉センター2階 保健センター いきいきルーム

＜開催日時・内容＞ 全3回開催

	11月	内 容
第1回	2日(火)	大切な命～命の価値をもう一度考える～
第2回	9日(火)	支える命～自殺のこころと向き合う～
第3回	16日(火)	あなたもゲートキーパー ～大切な人の悩みに気づく・支える～

(2) ゲートキーパーフォロー事業（ゆるいつながりの会）

目的：ゲートキーパー育成事業修了後も感性を磨き、お互いに認め合いながら学び合う場を提供し、地域における絆やつながりを育みます。

講師：佐久大学看護学部・大学院研究科 准教授 朴 相俊 氏

実績：開催日時 11月12日（金）、12月10日（金）、3月18日（金）、3月24日（木）
午後6時30分～午後7時30分

参加者 延べ74名

会 場 中央公民館第4学習室 総合福祉センター2階 保健センター

4. 若年者対策

(1) 思春期保健事業

目的：「ぴあ」という同じ世代の仲間と価値観を共感・共有しながら、将来への進路や生き方について自己決定能力を高める学習を深めます。

内容：近隣大学の学生ぴあカウンセラーを講師に、中学3年生へぴあによる健康教育

を実施。性感染症やお互いを大切にするための伝え方など学ぶ。
実績：なし 新型コロナ感染予防のため中止

(2) SOS の出し方教育への協力

内容：私立中学校2校で、2年生を対象に SOS の出し方を身につける授業を実施した。

実績：東部中学校 1月20日 236名 北御牧中学校 4月20日 46名

5. 関係機関連携会議（こころの健康づくり実務者会議）

目的：こころの健康のハイリスク者との接触のある医療機関・消防・相談業務を行っている部署が連携し、情報共有を図ります。

内容：情報交換（自殺に関連するケースへの対応と連携について）、事例検討

実績：開催日時 11月30日（火）

午後2時～午後4時30分

参集者 医療機関（精神科医師、精神保健福祉士）、保健福祉事務所
東御消防署、身体教育医学研究所、まいさぼ、教育委員会

開催場所 総合福祉センター1階 101 研修室

6. 庁内連携

(1) 関係課連携会議

こころの健康のハイリスク者が抱える様々な問題を解決するために庁内各関係課との連携をとり支援をしました。

(2) 精神定例会

乳幼児訪問・健診や医療機関の連絡箋等から、産後ケアの精神的支援が必要な場合は精神保健福祉士や病院につなげるよう支援しています。

(3) 自殺対策推進庁内会議

自殺対策関連施策を包括的に推進するため、情報を共有し連携を図ります。

7. Web「とうみこころの向き合いネット」

目的：メンタルについての情報や相談窓口の紹介などを Web で発信します。

内容：市の精神保健事業や関連事業の紹介、情報提供

委託先：公益社団法人 身体教育医学研究所

VI 食育推進事業

食育の推進にあたっては、東御市食育推進計画に基づき庁内各課で取り組んでいます。
また、市民運動として食育の推進に取り組むための体制を作っています。

1. 食育推進

(1) 東御市食育推進計画

第2次東御市健康づくり計画後期計画（R2～6年度）に食育計画を内包し、健康づくりと総合的な計画とし推進している。

(2) 健康保健課の事業

母子保健事業、生活習慣病健診等事業、健康づくり事業と一体的な食育を実施、及び食のボランティア育成。

(3) 推進体制

- ・ 食育推進市民会議 1回開催（令和3年11月10日） 委員9名出席
食育団体、農業団体、食品関連事業者、医師、教育・保育関係者等で構成
- ・ 栄養士連絡会 1回開催（令和3年9月13日）
市内学校栄養教諭、学校栄養職員及び庁内管理栄養士等で構成

2. 市民運動としての取り組み

(1) とうみ食育市民ネットワーク（平成21年度から活動）

食育推進計画に基づき16名の会員で市民主体の活動を継続。活動制限が強いられる状況下出来る活動を実施。

①会議

- 6月16日 第一回会議 活動計画等
- 7月17日 第二回会議 食育活動について、免疫力向上などレシピの学習

②子育て世代向け「時短・簡単・栄養満タン」レシピの作成、周知

元気に過ごすための応援レシピとして、一皿・一鍋・一工程など簡単で季節や簡単で栄養のバランスも考えたレシピを令和2年度から作成し全四季完成した。

(1) 提案メニュー

季節	メニュー
春	春野菜のおすし、のりじゃこトースト、ニラの玉子焼き、コールスローサラダ、巣ごもり卵
夏	レンジで豆腐カレー、ニラ玉そうめんチャンプル、ささみ甘酢あんかけ、ナスとキャベツのポン酢和え、トマトと春雨のかき玉汁
秋	かぼちゃのおやき、さつま芋の炊込みご飯、牛肉とごぼうの蒸し煮
冬	れんこんつくね、簡単ポトフ、にんじんのポン酢和え、巣ごもり卵、おかずピザ

(2) 周知方法

- ・ 2歳児歯科健診対象者・子育て支援センター利用者へ配布…約220部
- ・ 市ホームページ内すくすくポケットへ掲載

③会員学習

郷土料理や免疫力が上がる食事について食材やメニューについて学習した。

④保育園での食育活動

食育戦隊ベジレンジャーの紙芝居を作成し、市内各保育園で実施した。

実施人数（人）	田中	滋野	祢津	和	北御牧
年少児	42	38	25	31	21
年中児	51	21	24	30	21
年長児	37	40	33	32	35
合 計	130	99	82	93	77

⑤広報活動

市報を活用し会員の募集を行った。

市報に「おいしいヘルシークッキング」レシピ掲載（1回）

（2）東御市食生活改善推進協議会（昭和52年から活動している食育団体）

「私達の健康は私達の手で」をスローガンとし、まずは自ら、そして家庭や地域の人々の健康づくりの輪を広めることを目指し、食生活改善を中心とした活動をしています。

①総会と定例学習会

日程	内 容	人数
4月9日	総会	26
6月3日	「会の各グループの活動報告」学習 調理実習で好評だったレシピ紹介など（手作り料理グループ・社協グループ）	19
7月29日	学習 講師 地域おこし協力隊 山中 朗子 氏 「ジャイロキネシス 自宅でする簡単ストレッチ」	14
10月2日	学習 県委託事業「生涯骨太クッキング」 「データヘルス計画」中間評価について 市管理栄養士	16
12月2日	学習「優しい在宅介護について」会員 荻原妙子氏 「口腔機能について」歯科衛生士 宮島 典子氏 調理実習「優しい在宅介護食」（会員料理会の班）	21

②上小支部・県参加

日程	内容	人数
4月26日	上小支部定期総会（上田市）	6
5月25日	長野県定期会議（上田市）オンライン参加	1
9月14日	ヘルスメイト推進大会	中止
12月6日	ヘルスメイト活動強化会議 オンライン開催	1
1月25日	上小食育フォーラム	中止
5～3月	上小支部理事会 7回	2
10月	塩分アンケート（県）実施	

③主な活動

	内 容	協力 会員数
社協	いきいきサロン料理教室の講師（1回）	6

VII 健康づくり事業

健康づくりの重点事項として、第2次東御市健康づくり計画「健康とうみ21（後期 令和2～6年度）」の計画に沿って各事業を実施しています。

自らの健康をコントロールする健康意識の向上を図ることに加え、市内5地区別に健康課題や健康情報を提供する場を地域づくりの会と連携して開催し、地域における健康づくりを推進しました。

事業概要は、「健康とうみ21」の推進として、各種健康づくり講演会の実施や出前講座、プラス10ミニッツ健康マイレージ事業、健康づくり推進員会と地域づくりの会の共催による市内5地区の健康課題分析報告会、各種ウォーキング教室等の事業を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し実施しました。

1 健康づくり講演会

(1) 日時および内容

回	開催日	内容	講師	各区会長のみ
1	R3.5.24	講演会 「健康づくり推進員の活動を楽しもう！」	東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野 准教授 今村 晴彦氏	64
2	R3.10.6	講演会 「今からできる健康づくりとフレイル予防」	早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 宮地 元彦氏	44
合計				108

2 5地区単位の健康状況学習会

(1) 経過

「健康とうみ21」において、地域特性の把握に努め、健康状況を分析し課題を明らかにすることにより、市民が健康づくりに取り組むきっかけを作るとともに、その取り組みを継続するための支援や健康な地域づくりの推進を図ることを掲げています。

H28年度から、5地区単位の健康状況分析についてKDB（国保データベースシステム）を活用した分析を実施しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から滋野地区以外は中止となりました。例年、健康づくり推進員会と地域づくりの会との共催で学習会を開催しています。この研修は出前講座のメニューにも位置づけ、分析・研修講師を（公財）身体教育医学研究所に委託しています。

(2) 実績

地区	実施日	場所	連携・関係団体	人数
田中	R4.2.14	中央公民館	田中地区地域づくりの会 田中地区健康づくり推進員会	中止
滋野	R3.11.10	滋野コミュニティセンター	滋野地区地域づくりの会 滋野地区健康づくり推進員会	31
祢津	R4.1.17	祢津公民館	祢津地域づくりの会 祢津地区健康づくり推進員会	中止
和	R4.2	和コミュニティセンター	和地域づくりの会 和地区健康づくり推進員会	中止
北御牧	R4.2	北御牧公民館	北御牧地域づくりの会 北御牧地区健康づくり推進員会	中止
合計	1 回実施		参加人数	31

(3) 分析結果および学習会内容

過去 5 年の健診結果の分析から東御市の健康状態について、高血糖状態が改善傾向でしたがここ 2 年悪化していること、高血圧者が右肩上がりに増えていること、健診受診率が伸び悩んでいることの報告がありました。またコロナ禍で改めて考えた健康づくりとして、生活習慣病が感染症状を増悪させる要因になるため、これまでと同じように日常の心がけと行動が大事になることと、地域で集まれなくても健康づくりに取り組めるように作成した動画「Stay Healthy 健康お役立ち動画」の紹介がありました。

3 各種教室

(1) とうみ ACE (エース) 教室「おとなのための健康づくり教室」《発症予防の教室》

目的	糖尿病予備群 (HbA1c5.6 以上) が 6 割以上を占めている。若い世代からの糖尿病予防を行う必要があるため、発症予防を目的とした適正体重の維持および減量の方法と実践の場を提供する。
対象者	70 歳未満で、減量や体重管理を希望する概ね BMI (体格指数) 24 以上または腹囲 85cm 以上の市民 1 コース 10 名程度の定員
内容	体重・腹囲計測、スロージョギング、ストレッチ、講義 1 コース 3 回 (2 回目は感染警戒レベルが 5 のため中止とした) 場所 総合福祉センター
実績	1 月～3 月開催 延べ 22 人 (うち運動 10 人 実 12 人)
講師	(公財) 身体教育医学研究所 健康運動指導士 横井佳代氏、管理栄養士

(2) ウォーキング教室

目的	1 ポールを使ったウォーキングとウォーキングマップの周知。 2 冬の運動習慣定着のため室内でできる運動の周知。 3 湯の丸高原の施設の活用。		
場所	東御中央公園、総合福祉センター、湯の丸高原		
講師	(公財) 身体教育医学研究所 指導員		
内容 ・ 実績		開催回数	延人数
	1 インターバル速歩教室 (11/1、3/14)	2 回	19 人
	2 スロージョギング教室 (1/13、3/4)	2 回	26 人
	3 ポールウォーキング教室 (10/28、3/10)	2 回	13 人
	4 湯の丸高原ウォーキング教室 (10/1)	1 回	4 人

7回 計 62 人

(3) 運動教室 《特定健診受診者を対象とした教室》

目的	生活習慣病予防のための運動習慣定着のきっかけづくり。
内容	・室内でできる筋力トレーニング、ストレッチの紹介 場所 ラヴェリテ、中央公民館 講師 (公財) 身体教育医学研究所 指導員
実績	8回開催 (9/27～1/6) 延べ 66 人

4 出前講座

健康保健課担当講座	利用団体	延人数
No.25 : Action からだ動かして、すっきり改善教室	4	1 1 1
No.26 : Check 自分の体、たしかめてガッテン	2	2 5
No.30 : Eat 今日からはじまる減塩生活	1	1 5
No.31 : Eat・Action 糖を上げないコツ	1	1 8
No.32 : Eat 健康に食べるってなあに？	2	7 6
No.33 : おらほの地区の健康状況について	2	6 0

12回 計 305 人

5 関係機関との連携

(1) 地域連携

市内5地区の健康づくり推進員会を始めとして、地域づくり支援員、地域づくりの会、地域の役員との連携を図りながら地域ごとの健康課題の学習会開催について、地区担当保健師が調整を行いました。

28年度から継続して実施していますが、健康づくり推進員会と地域づくり協議会と協働で学習会を実施し、地域の方々との関係づくりをはじめ、地域ごとの課題を知ってもらう一助となりました。

(2) 健康づくり動画の周知

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、また外出控えのための運動不足を解消するため、健康づくり動画を周知しました。

大勢が集まっての教室開催は困難でしたので、動画の周知を行いながら健康づくりについてホームページや広報等で周知しました。

6. 「けんこうとうみ+10ミニッツ」事業

市は健康水準の向上と健康寿命の延伸による健康なまちづくりを実現するため、平成26年度から「けんこうとうみ+(ぷらす)10(てん)ミニッツ」事業を行っています。

市民が自らの健康をコントロールし、健康意識の向上を図ることを目的とし、日常生活を大きく変えず、気軽に健康づくりに取組めるよう、市の健康・観光資源を活用した事業を実施しています。

- 1) 対象者 市内に住所を有する4月1日で16歳以上の方
- 2) 実施期間 令和3年5月1日(土)～令和4年3月31日(木)
- 3) 事業委託先 公益財団法人 身体教育医学研究所
- 4) 事業実績

(1) プラス10ミニッツ事業

① 健康づくり講演会「ずくだす講演会」

- ・日 時 令和3年10月6日(水) 午後2時30分～3時30分
- ・場 所 東御市中央公民館 3階講堂
- ・演 題 「今からできる健康づくりとフレイル予防」
- ・講 師 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 宮地元彦氏
- ・参加者数 44人

② 無料レンタルボールの設置

市民の健康づくりへの動機づけ、運動習慣の定着により、健康な街づくりを推進するため、市民の身近な場所へ3種類のウォーキングボール(100セット)を設置、貸し出しました。

ア) 設置数：以下の市内12か所へ7セット

(健康保健課、第一体育館、中央公民館、各地区公民館(4)、市内温泉施設(4)、湯の丸高原ビジターセンター)

(公財)身体教育医学研究所へ16セット

イ) ボールの種類：

ボールウォーキング用ボール【PP】：安心歩き。ボールを前につくタイプ

ルネックウォーク用歩行ボール【AP】：しっかり歩きタイプ

ルネックウォーキング用ボール【NP】：ぐいぐい歩き、ボールを後ろにつくタイプ

③ 健康ウォーキングマップ

市内全15コースを市ホームページ上で閲覧しやすいよう整備しています。

(2) 健康マイレージ事業

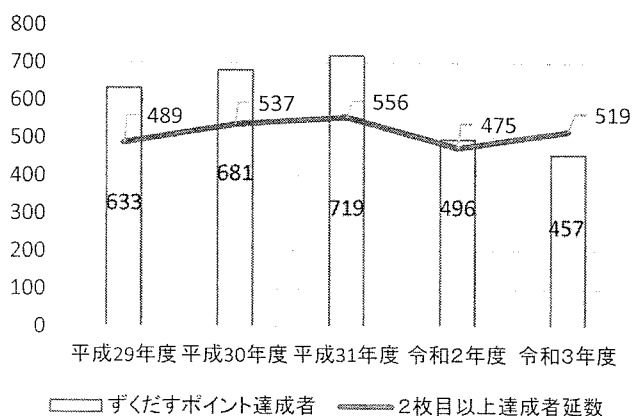
市が主催する健康づくり事業等への参加し、ポイントを集めることにより、市民が気軽に健康づくりに取り組み、健康意識の向上を図ることを目的とし、事業参加者や希望者へポイントカード（ずくだすカード、百体観音湯の道カード：平成 28 年度から）を配布、ポイントが満点(15 点)となった方に景品を差し上げています。

令和 3 年度は満点カード 1 枚目で日帰り温泉施設入浴券またはオリジナルグッズから 1 点、満点カード 6 枚目で 1 枚目と別の景品、満点カード 12 枚目でオリジナルタオルを差し上げました。

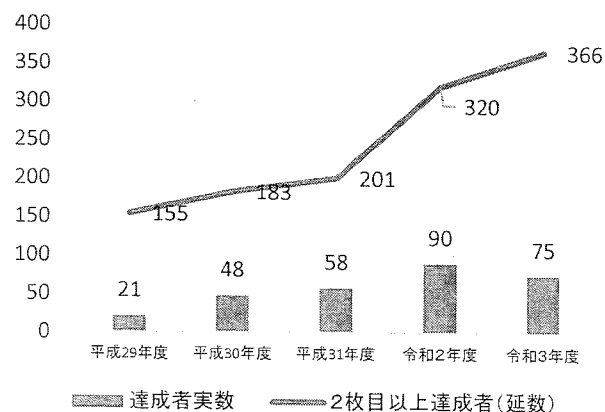
〈配布枚数・達成者状況〉

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
ずくだすカード 配布数(枚)	10,594	9,633	8,482	5,770	5,875
湯の道カード 配布数(枚)	568	863	720	1,823	1,513
ポイント満点達成者数(人)	654	729	777	586	532
内訳	ずくだす 633 湯の道 21	ずくだす 681 湯の道 48	ずくだす 719 湯の道 58	ずくだす 496 湯の道 90	ずくだす 457 湯の道 75
2 枚目以上の達成者延数(人)	644	720	757	795	885
内訳	ずくだす 489 湯の道 155	ずくだす 537 湯の道 183 (実数ずくだす 213 湯の道 19)	ずくだす 556 湯の道 201 (実数ずくだす 179 湯の道 22)	ずくだす 475 湯の道 320 (実数ずくだす 104 湯の道 54)	ずくだす 519 湯の道 366 (実数ずくだす 84 湯の道 52)
ポイント満点達成者延数(人)	1,298	1,449	1,534	1,381	1,417
内訳	ずくだす 1,122 湯の道 176	ずくだす 1,218 湯の道 231	ずくだす 1,275 湯の道 259	ずくだす 971 湯の道 410	ずくだす 976 湯の道 441
湯の道カード 横綱達成者	9	7	8	12	17

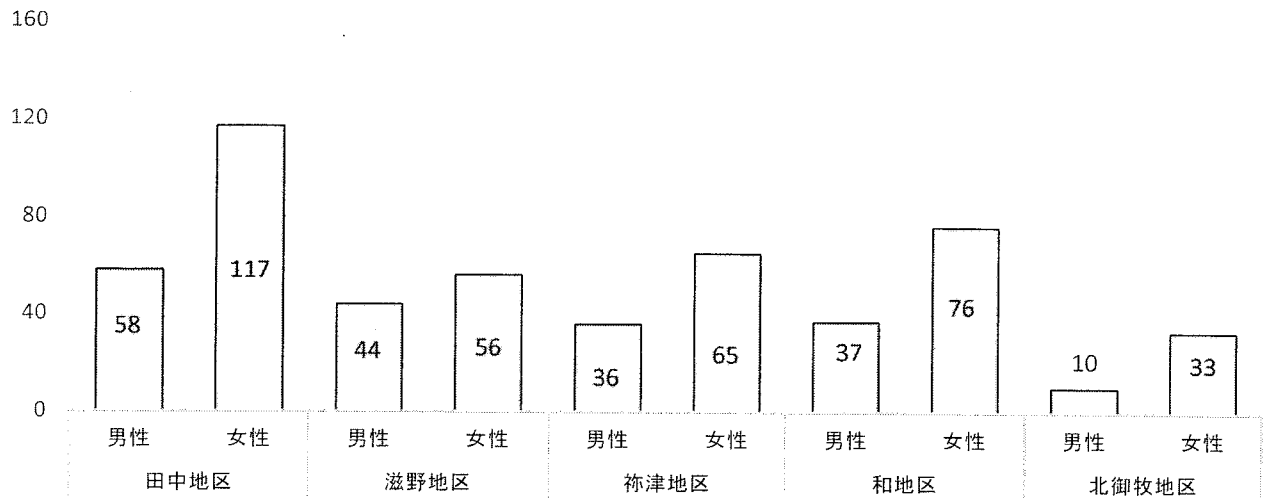
ずくだすカード達成者の推移(人)



湯の道カード達成者推移(人)



ポイント満点達成者地区別人数



参考)

「ずくだすカード」は、市が主催する健康づくり事業（特定健診、各種がん検診、乳幼児健診、離乳食教室、研修会・講演会・健康教室、各種イベント等）へ参加することにより、ポイントを付与します。

「百体観音湯の道カード」は、ウォーキングに限定したカードで、歩いた距離に応じて自分で日付を記載しポイントとする、自己申告制のカードです。

なお、令和2年度から感染予防に努めながら健康づくりを実践できるよう、以下についてもポイントを付与することとしました。

「ずくだすカード」

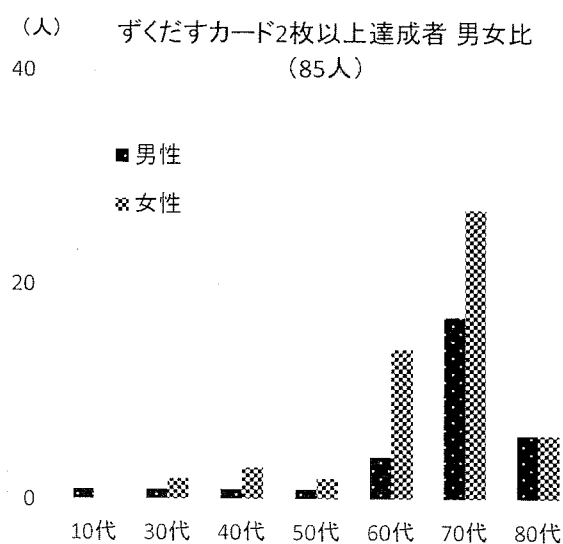
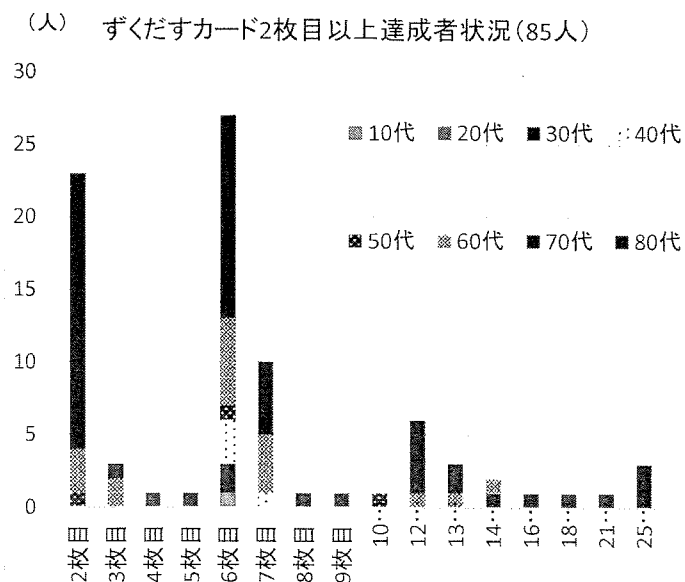
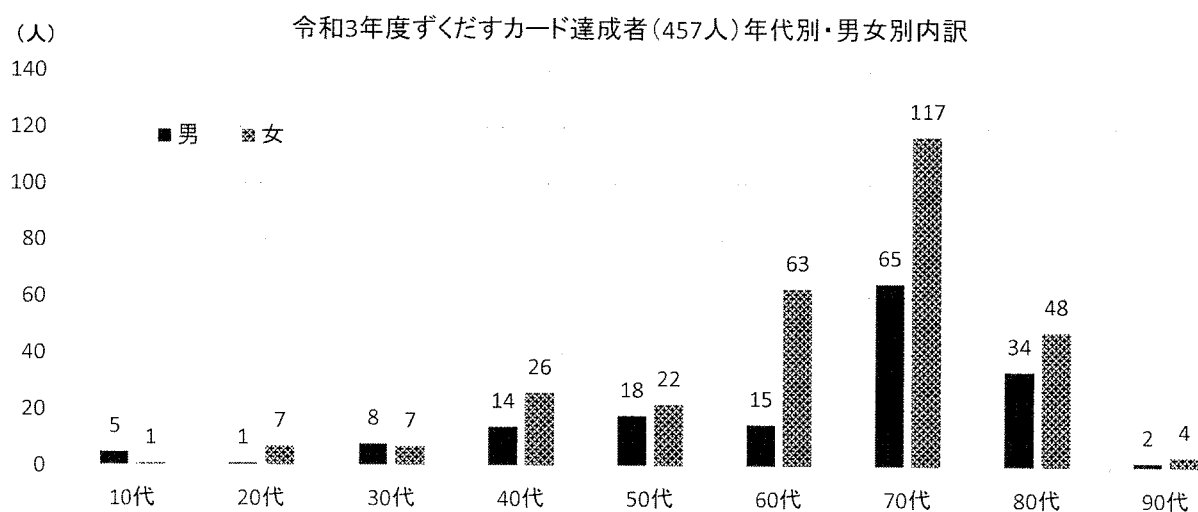
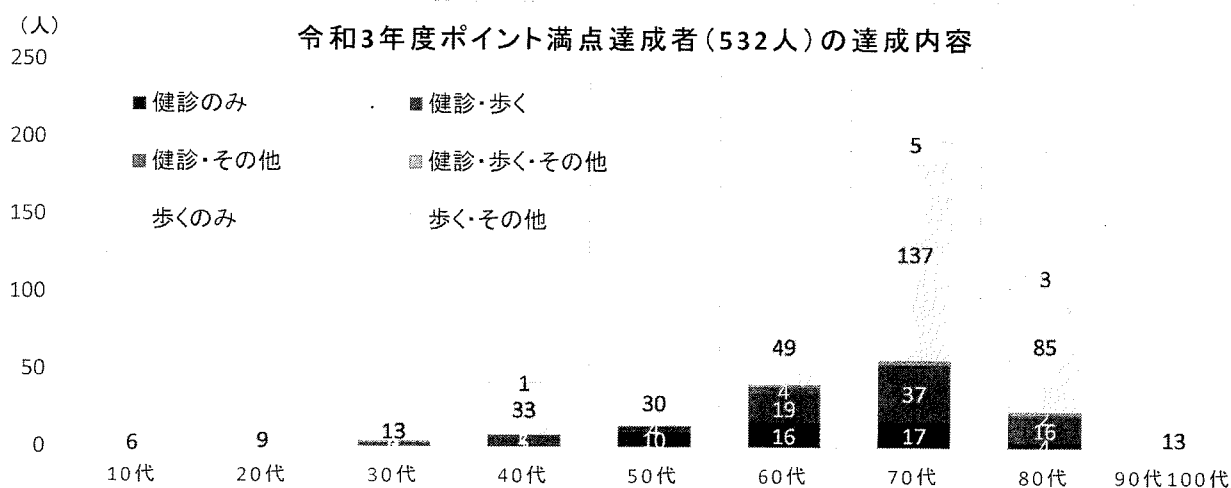
ウォーキングのコースは限定せず、10分以上のウォーキングで1日ひとマスまで、自分で日付を記入できる。

「湯の道カード」

ウォーキング以外の運動でも記入可能とし、7分半の運動で1マス、15分の運動で2マスで1日最大4マスまで記入できる。

資料 1) 令和 3 年度健康マイレージ事業実績

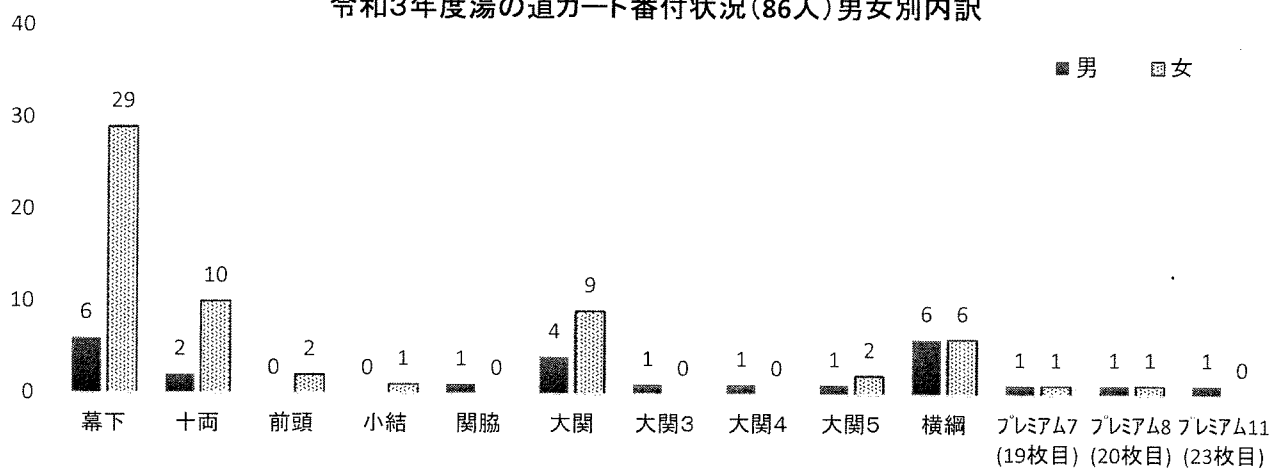
1 ずくだすカードの達成状況



2 湯の道カード達成状況

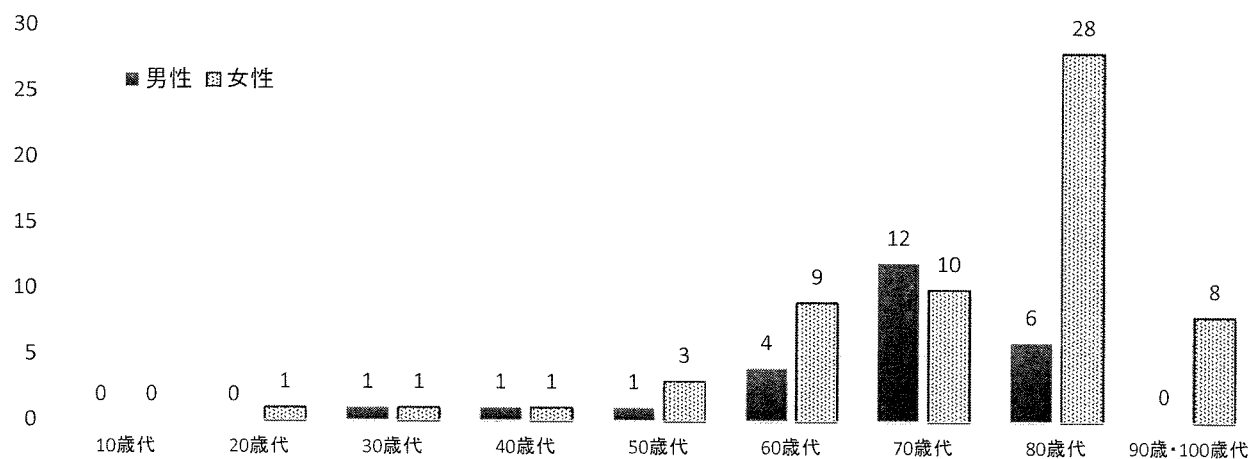
(人)

令和3年度湯の道カード番付状況(86人)男女別内訳



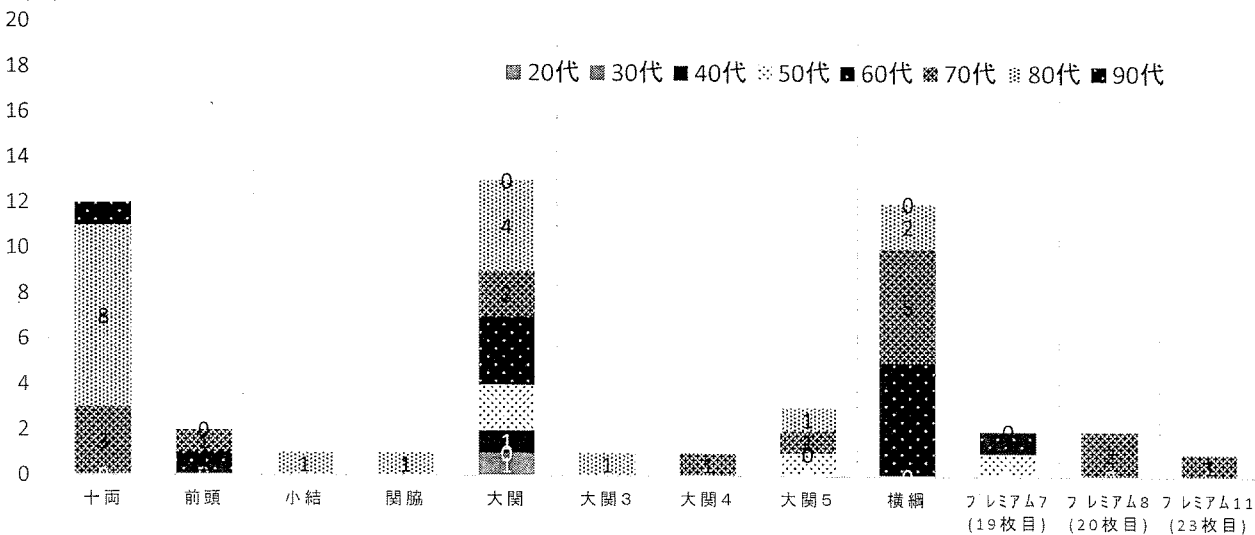
(人)

令和3年度湯の道カード達成者(86人)年代別・男女別



湯の道カード番付2枚目以上達成者(51人)の達成状況

(人)

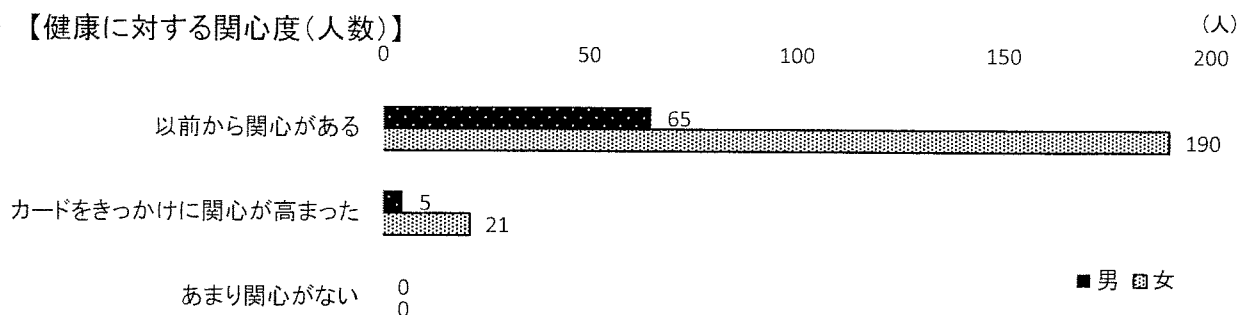


資料2) 令和3年度健康マイレージ達成者アンケート結果

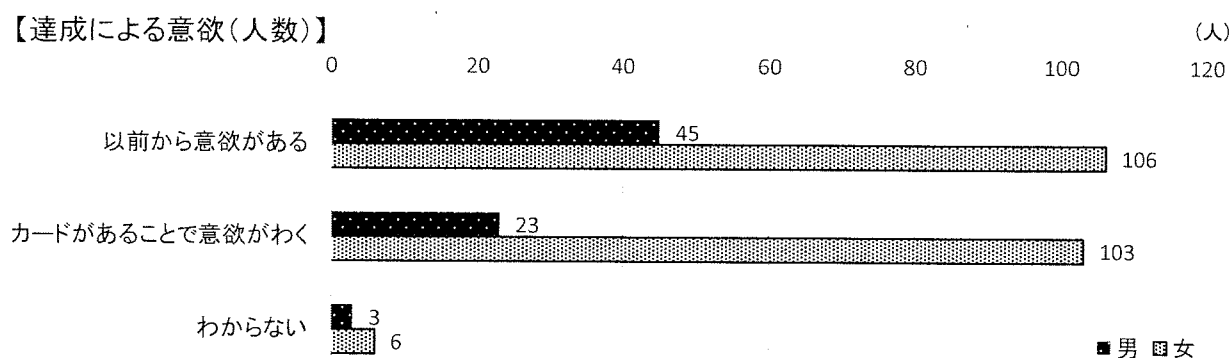
健康マイレージ事業(ずくだすポイント・湯の道カード)達成時に、アンケート調査を実施。

■ 達成者：532名 回答者：281名 (回答率 52.8%) (複数回答あり)

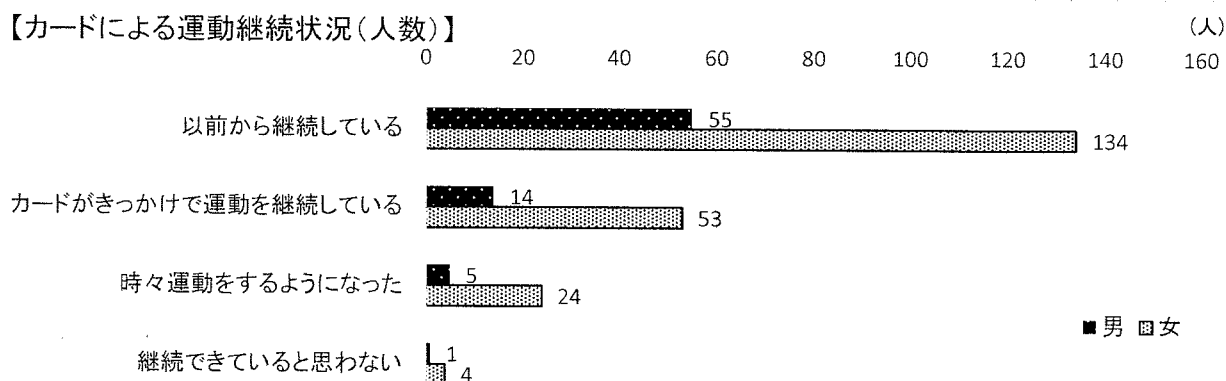
【健康に対する関心度(人数)】



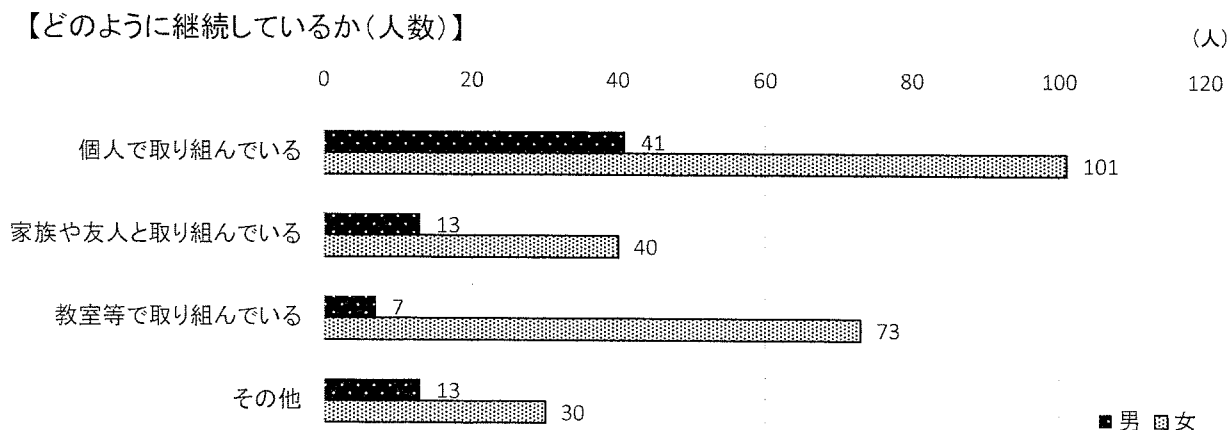
【達成による意欲(人数)】



【カードによる運動継続状況(人数)】



【どのように継続しているか(人数)】



7. 健康づくり推進員会活動

○令和3年4月1日より、「保健補導員」から「健康づくり推進員」へ名称変更して活動を行いました。

○「自らの健康は自らつくる」意識の高揚と、区内及び地区内において健康増進の推進者として以下3つの活動を担い、市が委嘱しています。

- ①健康づくりについての学習をする
- ②学習内容を家族や区内及び地域内に広める
- ③市の保健事業へ協力する

会長：北澤 俊子（祢津） 副会長：中澤 利雄（滋野）

理事：各地区2名（地区正副会長）

会員：合計338名（田中：86名、滋野：83名、祢津：69名、和：52名、北御牧：48名）

（1）理事会

回数	1	2	3
日付	4月14日	9月17日	3月24日
人数	10	8	2
内容	・名称変更について ・年間計画検討 ・健康づくり推進員の活動について	・情報交換：地区ごとの活動状況について ・回覧板（2回目）の検討	・引継ぎ会

・5月24日、1月27日にも理事会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行状況により、中止しました。

（2）広報活動

健康づくり推進員の活動を市民に広報するため、回覧板を作成し（3回）、全体研修会や理事会活動のほか、地区ごとのお知らせ(地域の講座等)を掲載し、地域で回覧しました。

（3）健康づくり推進員 に選出依頼された委員等

委員名	人数	事務局	担当理事
上小保健補導員等連絡協議会代議員(監事として)	2	上小保健補導員等連絡協議会	北澤(祢津)・中澤(滋野)
東御市健康づくり推進協議会委員	1	健康保健課	油井(滋野)
食育推進市民会議委員	1	健康保健課	小林(田中)
東御市介護保険運営協議会委員	1	福祉課	翠川(北御牧)
東御市地域福祉計画推進委員	1	福祉課	山越(祢津)
生活支援整備事業協議体委員	1	福祉課	馬場(田中)
東御市国保運営協議会副会長	1	市民課	木藤(北御牧)
東御市民病院運営委員会委員	1	東御市民病院	中山(和)
チャレンジデー実行委員	1	生涯学習課	清水(和)
(公財)身体教育医学研究所評議員選任等委員	1	(公財)身体教育医学研究所	中澤(滋野)

(4) 全体研修会

日付	内 容	場 所	人数
4月14日	委嘱式	中央公民館	10
5月24日	講演会「健康づくり推進員の活動を楽しもう！」	中央公民館	62
10月6日	講演会「今からできる健康づくりとフレイル予防」(健康づくり講演会)	中央公民館	44
2月14日	講演会 新型コロナウイルス感染症の流行により中止		中止

(5) 市外等研修会参加

日付	内 容	場 所	人数
8月20日	第36回上小保健補導員等研究大会 *参加予定者に資料のみ配布	青木村	中止
10月15日	第49回長野県保健補導員等研究大会	ホクト文化ホール	中止
	第14回小県医師会健康フォーラム	セレスホール	中止
	第25回上小いい歯の日フェスタ (歯科医院で表彰のみ実施)	サントミュージゼ	中止
	第39回上小地域健康のつどい	健康プラザ上田	中止

(6) 地区活動

地区	日付	内 容	場 所	人数
田中	5月24日	地区推進委員会	中央公民館	8
	11月27日	マップを活用したウォーキング教室	田中地区内	8
	2月14日	田中地区の健康状況を学ぶ学習会	中央公民館	中止
	3月18日	新旧正副会長引継ぎ会	総合福祉センター	4
滋野	6月24日	役員会	保健センター	10
	7月15日	ストレッチ・糖を上げないコツについて学習	総合福祉センター	17
	11月10日	滋野地区の健康状況を学ぶ学習会	滋野コミュニティセンター	31
	12月5日	スロージョギング・減塩学習会	滋野コミュニティセンター	15
	3月17日	新旧引継ぎ会 会計監査	保健センター	4
祢津	5月24日	地区推進委員会	中央公民館	14
	7月18日	湯の丸高原ウォーキング	湯の丸高原	21
	10月2日	ポールウォーキング (新張・出場地域)	祢津公民館	28
	1月17日	祢津地区の健康状況を学ぶ学習会	祢津公民館	中止
	3月10日	新旧引継ぎ会	保健センター	15
和	5月24日	地区推進委員会	中央公民館	13
	10月18日	地区推進委員会・減塩学習会	和公民館	23
	11月1日	湯の丸高原ウォーキング教室	雨の為中央公園	1
		和地区の健康状況を学ぶ学習会	和公民館	中止
	3月22日	新旧引継ぎ会	保健センター	25
北御牧	5月24日	地区推進委員会	中央公民館	18
	9月3日	明神館ポールウォーキング	明神館	9
	12月14日	スロージョギング・ストレッチ	北御牧公民館	10
		北御牧地区の健康状況を学ぶ学習会	北御牧公民館	中止
	3月17日	会計監査	北御牧公民館	3
	3月17日	会長・副会長決め	北御牧公民館	30

(7) 協力事業

- 5月 特定健診・がん検診受診のお勧め活動
*新型コロナウイルス感染防止のため実施せず(市が郵送)
- 8、11月 胸部レントゲン検診補助
- 2月 特定健診・がん検診申込書の配布と回収
*新型コロナウイルス感染防止のため実施せず(市が郵送)

(8) 地域づくりの会との協働事業

各地区でのウォーキング教室や、地区ごとの健康課題の学習会を行いました。
共催で実施できるよう、理事会で地域づくり支援員と情報交換を行いました。

8. 上小保健補導員会等連絡協議会

令和3年度から青木村が事務局を担当しています。
北澤会長と中澤副会長が幹事として参加しています。

	日付	内 容	場 所	
研究大会	8月20日(金)	第36回上小保健補導員等研究大会	青木村文化会館	中止(資料提供)
役員会	5月31日(月)	第1回役員会(総会)及び研修会	ひとまちげんき・健康プラザうえだ	中止(書面議決)
	2月22日(火)	第2回役員会及び研修会	青木村役場	中止
代表者会議 (三役会)	5月31日(月)	第1回代表者会議	ひとまちげんき・健康プラザうえだ	
	7月29日(木)	第2回代表者会議	青木村文化会館	中止
	8月20日(金)	第3回役員会(研究大会)	青木村文化会館	中止
	2月22日(火)	第4回代表者会議	青木村役場	中止
長野県保健補 導員会等連絡 協議会事業	6月8日(火)	代議員・支部事務担当者合同会議	長野県看護協会会館	県代議員・事務局
	7月21日(水)	市町村保健補導員等正副会長研修会	塩尻市文化会館	県代議員・事務局
	10月15日(金)	第49回長野県保健補導員等研究大会	長野市ホクト文化ホール	中止
	3月6日(金)	代議員・支部事務担当者合同会議	長野県看護協会会館	上小会長・事務局
依頼された会議	年4回	信州上小医療センター地域医療諮問委員会	信州上田医療センター	上小役員が交代で出席
	3月	上小圏域健康づくり推進会議	上田合同庁舎	上小会長
保健師幹事会	1月18日(火)	保健師幹事会	WEB開催	担当保健師

9. 保健補導員OB会活動

保健補導員の任期終了後、「自分の健康は自分で守ろう」という目的で、自分のため、
地域のために活躍している自主組織です。約17名の会員がさまざまな活動をしています。

市では、研修会参加案内等の協力をしています。

活動内容： 定例会

救急救命講習等のボランティア活動

上小健康のつどい等の研修参加

VIII その他

1. 保健センター利用状況

施設・事業区分		利用件数	利用人数	備 考
東御市保健センター				
母子保健	乳幼児健診	10	488	子＋母（保護者） 健康相談、子育て相談他
	ママパパ学級	2	32	
	健康相談等	12	59	
	離乳食相談	6	50	
成人保健	がん検診	8	382	胃がん、子宮頸がん、乳がん 特定健診等結果報告 ACE、スロージョギング
	健診結果報告会	2	11	
	運動教室等	3	38	
精神保健	こころの相談	8	10	ゲートキーパーフォロー、WRAP
	講座等	3	38	
栄養指導室		4	45	社協
献血		1	30	受付者数
会議等		1	8	母子関係者会議
予防接種		134	16,940	コロナワクチン予防接種
合 計		194	18,131	

4～12 月はコロナワクチン予防接種で使用したため、その他の事業は中央公民館で実施しました。

2. 人間ドック補助金等助成状況

(単位：人)

区 分 / 年 度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
①人間ドック（国保）	726	758	750	702	728	667	582	625
②脳ドック（国保）		4	2	9	4	5	9	4
③市内医療機関受診者	423	438	442	412	417			
④節目年齢	8	12	11	8	6			
⑤後期高齢者	141	164	171	213	224	250	192	234

市内に住所のある 40 歳以上の者を対象に、以下の助成をしました。

- ① 東御市国民健康保険加入者の人間ドックは、半日：15,000 円、1 日：20,000 円、
特定健康診査：5,000 円助成（内訳：償還払い 76 人 受領委任払い 549 人）
- ② 東御市国民健康保険加入者の脳ドックは、一律 13,000 円助成（H27 年度から）

- ③ ④ 市内医療機関で受診した者への医療保険を問わず一律上限 2,500 円助成及び 40 歳、50 歳、60 歳の節目年齢の者への医療機関の指定を問わず上限 2,500 円助成は、平成 31 年度より廃止。
- ⑤ 後期高齢者：一律 10,000 円（内訳：償還払い 14 人 受領委任払い 220 人）

3. 健康づくり推進協議会

市民の健康づくりに関する重要事項を調査審議するとともに、総合的な健康づくり施策を積極的に推進するための協議会です。

開催日	協議事項	出席 (委員 18 名中)
令和 3 年 11 月 18 日	(1)市健康づくり計画等進捗状況について (2)健康づくりに関する意見等について	16 名

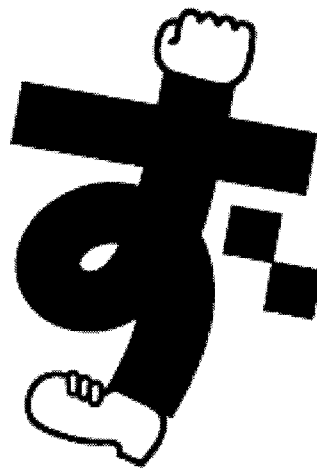
4. 献血推進

市内事業所等の協力を得て、移動採血車による献血を実施しました。

＜実 績＞ 実施場所	R2		R3	
	延べ回数	献血者数	延べ回数	献血者数
中央公民館	—	—	2	91
保健センター	2	73	1	28
協力事業所（事業所数）	16（12）	586	14（11）	407
計	18	659	17	526

< 付録 >

- 1 母子保健の状況
- 2 特定健康診査、特定保健指導実施状況
- 3 食育推進事業実施状況
- 4 運動指導等委託事業実績
- 5 第2次東御市健康づくり計画後期計画「健康とうみ21」評価項目
- 6 第2期東御市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）評価項目



1. 母子保健の状況資料編【健康とうみ】

1 妊娠中の状況

喫煙・飲酒率

年度	喫煙率(%)	飲酒率(%)
R2	3.2	2.7
R3	2.2	0

(新生児訪問時)

カウンセラー、精神科医師、診療内科に相談したことがある妊婦(人)

R2	9
R3	20

(妊婦訪問時)

困った時に相談する相手の状況(%)

年度	夫	実母	その他
R2	94.3	88.1	94.4
R3	96.4	89.2	100

(妊婦訪問時)

妊娠中に歯周病の悪化で早産や低体重児の出産リスクが高まることを知っている割合(%)

R2	73.6
R3	75.2

(妊娠届)

歯周病検診受診状況

年度	受診率(%)	歯周ポケットあり(人)	歯周ポケットなし(人)
R2	29.6	42	13
R3	35	46	18

(歯周病健診)

2 乳幼児期の状況

うつ傾向のある妊婦、子育てのことを相談できる人がいない産婦の割合(%)

年度	うつ傾向のある産婦	子育てのことを相談できる人がいない産婦
R2	8.1	7.6
R3	4.3	3.8

(新生児訪問時産後うつ質問票)

「ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間がある」と回答した保護者の状況(%)

年度	4か月児健診	1歳6か月児健診	3歳児健診
R2	91.8	84.3	72.5
R3	85.4	87.4	74.4

(乳幼児健診問診表より)

経過観察が必要な児の割合(%)

年度	1歳6か月児健診	2歳児健診	3歳児健診
H31	24.3	10.1	14.5
R2	39.4	12.9	19.0
R3	34.5	11.2	13.5

(乳幼児健診)

資料

合計特殊出生率(健康保健課計算)

令和3年(2021年)	1.390
-------------	-------

出生数(人)

令和3年	185
令和3年度	185

(市出生統計)

新生児訪問後の要支援家庭の状況

年度	訪問数	要支援 家庭数 (全体)	要支援児			要支援産婦			環境要因 支援
			人数	内容		人数	内容		
				体重	疾病等		不安等	体調・ 疾病等	
H31	189	65(34.4%)	31	15	17	35	21	17	19
R2	184	67(36.4%)	33	11	14	42	23	12	10
R3	181	53(29.3%)	25	6	9	26	18	4	10

(新生児訪問)

1歳6か月児健診の経過観察の内容(%)

年度	課題不通過	ことば	身長・体重	母の育児不安・ メンタル
H31	25.2	6.8	6.3	1.9
R2	40.4	15.5	9.8	1.9
R3	43.8	8.6	8.6	3.8

(乳幼児健診)

生活リズム

・1歳6か月児

(%) (乳幼児健診)

年度	起床時間			就寝時間		
	7時前	7時台	8時以降	21時前	21時台	22時以降
R2	54.5	36.2	9.3	33.3	57.3	9.4
R3	53.5	43.5	3.0	34.8	59.6	5.6

・3歳児

(%) (乳幼児健診)

年度	起床時間			就寝時間		
	7時前	7時台	8時以降	21時前	21時台	22時以降
R2	56.9	40.3	2.8	18.0	69.7	12.3
R3	50.7	43.0	6.3	20.3	65.7	14.0

「子育ては楽しい」と回答する保護者の割合(%)

(乳幼児健診)

年度	項目	4か月	10か月	1歳6か月	2歳	3歳
R2	楽しい	83.6	88.9	78.9	74.8	59.7
	まあまあ	13.3	7.1	17.4	21.9	31.3
	大変	3.1	4.0	3.3	3.3	7.1
	不明	0.0	0.0	0.4	0.0	1.9
R3	楽しい	82.2	76.4	83.3	80.7	55.8
	まあまあ	14.0	20.3	13.6	17.1	32.2
	大変	3.8	2.7	3.0	2.1	6.7
	不明	0.0	0.5	0.0	0.0	5.3

2. 特定健康診査、特定保健指導実施状況

◎ 令和3年度実施状況(推計)

1. 特定健診の対象者

人 口	29,262 人(R3. 4. 1現在)
国保加入者	6,743 人(R3. 3. 31現在)
国保40～74歳(受診券作成数)	5,096 人(R3. 4. 1現在)

2. 特定健診の内容

＜特定健診＞ 委託先 市内医療機関に委託および
県医師会との集合契約も併せて締結
実施期間 個別:令和3年6月1日～令和4年1月31日

＜特定保健指導＞ 市で実施
一部医療機関へ委託

3. 実施目標と実績

目標	年度	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
	特定健診の受診率	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上
	特定保健指導の実施率	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上
	該当者・予備群の減少率							

実績	年度	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
	特定健診の受診率	45.4%	44.5%	46.3%	46.1%	43.7%	40.8%	41.9%
	特定保健指導の実施率 (終了率)	65.4%	65.0%	66.3%	53.1%	60.3%	60.3%	50.7%

(R3年度は推計値)

4. 特定健診受診状況

(R4.6.24現在の把握状況。国の法定報告は翌年度冬に確定のため、推計値を計上)

単位:人

受診者数	東御市国保特定健診(40～74歳)				小 計	対象者数	受診率 (%)
	健診	人間ドック等	情報提供				
			医療機関	本人			
合 計	1,303	614	45	174	2,136	5,096	41.9%

＜状況内訳＞

① 健診受診者の年代別・性別受診者数

単位:人

年代別	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	特定健診受診者
受診者数	101	142	504	556	1,303

単位:人

男女別	男性	女性	特定健診受診者
受診者数	524	779	1,303

② 地域別受診率

地区名	田中	滋野	祢津	和	北御牧	合計
受診率(%)	38.97%	43.09%	44.47%	37.44%	47.31%	41.90%

令和3年度 特定健診受診勧奨活動記録（地区集計）

各地区担当者の入力数を集計（R4.5.30現在）

	田中	滋野	祢津	和	北御牧	計	備考
地区担当保健師訪問、電話等	35	79	11	21	47	193	
地区担当栄養士訪問、電話等	89	35	36	47	25	232	
ハガキ	1,606	932	1,211	1,215	1,256	6,220	
委託保健師依頼	467	265	210	286	94	1,322	電話, 訪問
合計	2,197	1,311	1,468	1,569	1,422	7,967	
（参考：R3. 推計受診率）	38.97%	43.09%	44.47%	37.44%	47.31%	41.9%	

1. 受診率向上のために実施した事業

（1） 広報活動

- ・「市報とうみ」にて「生き生き長生き健康とうみ」に健康情報掲載（6, 9, 10, 3月）
- ・「FMとうみ」でのPR（毎月1回）
- ・国民健康保険証郵送時にリーフレット同封
- ・出前講座や健康づくり推進員会での健診PR

（2） 対象者への啓発

- ・対象者全員に受診券送付
 - ・地区担当保健師・栄養士による個別の受診勧奨訪問や電話勧奨
 - ・集団健診実施にあわせ、電話がけにて勧奨
 - ・対象者別ハガキによる受診勧奨
- （9, 10月情報提供依頼、集団健診と個別健診・12月個別健診と人間ドック補助金）

（3） 医療機関との連携

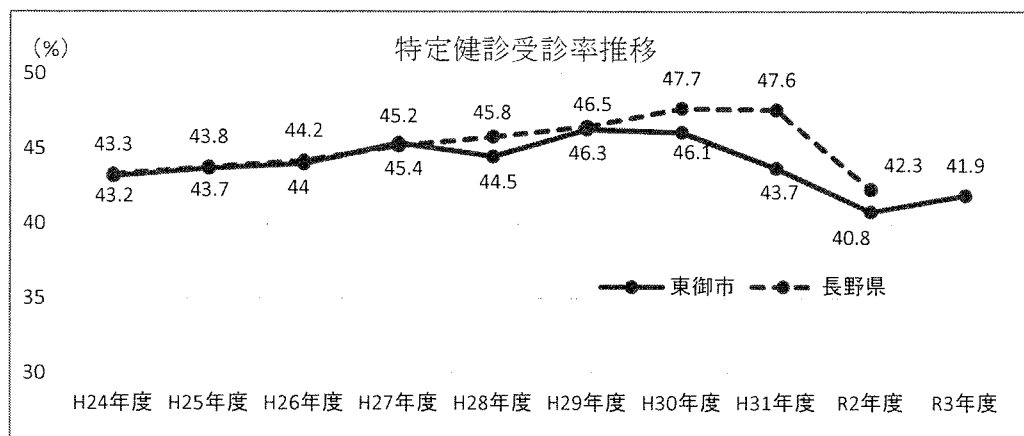
- ・医人会での特定健診、情報提供の依頼
- ・情報提供依頼の通知
- ・東御市民病院医事課との連携

◎ 令和2年度実施実績

1. 特定健診受診状況

	東御市	長野県	国
特定健診対象者数	4,900	338,480	18,385,561
特定健診受診者数	2,001	141,751	6,189,888
(特定健診受診率)	40.8%	42.3%	33.7%

*資料：令和2年度国保保険者における特定健診等結果状況報告書

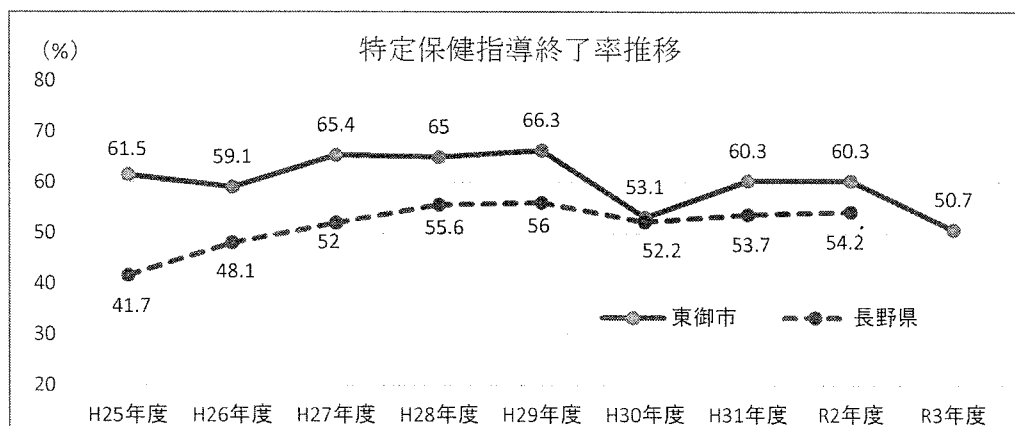


*令和3年度は推計値

2. 特定保健指導終了率

	東御市	長野県	国 (速報値)
対象者数	224	15,665	707,022
終了者数	135	8,481	197,416
終了率	60.3%	54.2%	27.9%

*資料：令和3年度国保保険者における特定健診等結果状況報告書



*令和3年度は推計値

3. 令和3年度 食育推進事業実施状況

項 目		事 業 名	回数	延べ 人数	集団個 別合計	訪問 (再掲)
乳 幼 児 期 の 食 育	【マタニティー教室】	ママパパクッキング	2	16	1,152	-
	【乳幼児健診】	4ヶ月・10ヶ月・1.歳6ヶ月・2歳・3歳児健診	50	961		-
	【離乳食教室】	ごっくん離乳食教室（満5ヶ月児対象）	9	87		-
		もぐもぐ離乳食教室（満7ヶ月児対象）	9	88		-
	【乳児対象個別相談】	離乳食個別相談	3	25	191	-
		母と子の健康相談		29		-
		上記以外の相談		97		5
	【幼児対象個別相談】	母と子の健康相談		16		-
		上記以外の相談		24		2
成 人 期 の 食 育	【栄養指導・相談】	一般個別指導 20歳～64歳まで		8	520	-
		65歳以上		27		27
	【特定保健指導の実施】	特定保健指導 動機づけ・積極的支援		230		24
	【保健指導】	生活習慣病治療中（重症化予防含む）		74		16
		上記以外の保健指導		149		2
		後期高齢者（75歳以上）		32		2
	【とうみACE教室】	《発症予防の教室》	2	22	253	-
	【食生活改善推進協議会】	会員学習会・料理講習会	4	70		-
	【出前講座】	滋野地区保健補導員会	3	65		-
		和地区保健補導員会	1	23		-
		サンライズホール	1	45		-
		0歳児ママ広場	2	28		-
延べ合計			86	2,116	2,117	78

4. 運動指導等委託事業実績（公益財団法人身体教育医学研究所委託事業）

集団運動指導の状況（No. 25：ウォーキング、No. 26：ストレッチ等）（人）

実施日	依頼団体等	No	延べ人数
4月3日	一般社団法人ひといき	25	6
7月15日	滋野地区健康づくり推進員会	26	18
7月18日	祢津地区健康づくり推進員会	25	19
9月24日	ぴよんぴよんくらぶ	26	28
10月23日	常田区健康づくり推進員会	26	20
11月23日	社会福祉法人小県福祉会サンライズホール	26	45
延べ合計			136

5. 第2次東御市健康づくり計画「健康とうみ21」 後期計画評価項目

		市の評価項目	計画策定時	中間評価値	現状値(R3)	市の目標(R6)
基本的な目標	健康寿命の延伸 (日常生活動作が自立している期間の平均の延伸)		男性 80.10年 女性 82.55年 (H22)	男性 80.18年 女性 83.59年 (H26～H28年の平均値)	男性 80.87年 女性 85.10年 (H29～31)	延伸
	(補完的数値目標) 要介護認定者の出現率		18.45% (H26年度)	15.64% (H30年度)	16.80% (R3年度)	17.52%以下
基本方針 1 自らの健康は自らつくる						
(1) 適塩・適糖・適量の推進	全出生数中の低出生体重児の割合		健やか親子へ			
	肥満傾向(カウプ指数16.5以上)の幼児の割合		3歳児 17.4% (3歳児健診結果) 5歳児 15.8% (保育係データ) (H26年度)	3歳児 24.2% (3歳児健診結果) 5歳児 19.5% (保育係データ) (H30年度)	3歳児 27.7% (3歳児健診結果) 5歳児 18.9% (保育係データ) (R3年度)	3歳児 23% 5歳児 16%
	肥満傾向の子どもの割合		小学生 男子 10.0% 女子 8.0% 中学生 男子 6.7% 女子 4.8% (H26年度学校保健統計調査)	小学生 男子 9.0% 女子 7.9% 中学生 男子 8.2% 女子 8.0% (H30年度学校保健統計調査)	小学生 男子 12.9% 女子 7.8% 中学生 男子 9.9% 女子 9.7% (R3年度学校保健統計調査)	小学生 男子 10% 女子 7.5% 中学生 男子 7.5% 女子 7.0%
	やせ傾向の子どもの割合		小学生 男子 0.1% 女子 1.0% 中学生 男子 1.2% 女子 2.2% (H26年度学校保健統計調査)	小学生 男子 1.6% 女子 0.9% 中学生 男子 4.4% 女子 4.5% (H30年度学校保健統計調査)	小学生 男子 0.6% 女子 2.1% 中学生 男子 4.3% 女子 3.7% (R3年度学校保健統計調査)	小学生 男子 1.0% 女子 1.0% 中学生 男子 3.0% 女子 4.0%
	肥満者(BMI25以上)の割合		20歳～69歳男性 33.3% 40歳～69歳女性 18.4% (H26年度特定健診・若年健診)	20歳～69歳男性 33.7% 40歳～69歳女性 20.4% (H30年度特定健診・若年健診)	20歳～69歳男性 33.7% 40歳～69歳女性 26.8% (R3年度特定健診・若年健診)	20歳～69歳男性 28% 40歳～69歳女性 19%
	やせ(BMI18.5未満)の割合		20歳～39歳女性 21.2% (H26年度特定健診・若年健診)	20歳～39歳女性 26.3% (H30年度特定健診・若年健診)	20歳～39歳女性 16.7% (R3年度特定健診・若年健診)	20歳～39歳女性 20%以下
	高齢期(65歳以上)の低栄養傾向(BMI20以下)の割合			20.1% (H30年度国保特定健診、 後期高齢者健診)	17.3% (R3年度国保特定健診、 後期高齢者健診)	22%以下
	「食塩の多い料理を控えること」をいつも心がけている者の割合		42% (H25年度保健事業アンケート)	39% (H30年保健事業アンケート)	39% (H30年保健事業アンケート)	42%以上
	「野菜をたべること」をいつも心がけている者の割合		66% (H25年度保健事業アンケート)	62% (H30年保健事業アンケート)	62% (H30年保健事業アンケート)	66%以上
	(2) 身体活動の推進	運動やスポーツを習慣的に(体育の授業を除き週3回以上)している子どもの割合(3か年の平均値)		小学5年生 34.9% 中学2年生 64.6% (全国体力・運動能力、運動習慣等調査 H24～26年度の平均値)	小学5年生 39.6% 中学2年生 67.1% (H28～30年度の平均値)	小学校5年生 39.9% 中学校2年生 62.1% (R3年度生活実態調査)
1日当たりの平均歩行数			64歳以下 男性 6184歩 女性 5450歩 65歳以上 男性 5296歩 女性 4634歩 (H25年度保健事業アンケート)	64歳以下 男性 6034歩 女性 5214歩 65歳以上 男性 4643歩 女性 3884歩 (H30年保健事業アンケート)	64歳以下 男性 6034歩 女性 5320歩 65歳以上 男性 4723歩 女性 3884歩 (H30年保健事業アンケート)	64歳以下 男性 6200歩以上 女性 5500歩以上 65歳以上 男性 5300歩 女性 4600歩
30分以上の運動を週1～2回以上実施している割合			男性 40.2% 女性 38.8% (H25年度保健事業アンケート)	男性 46.6% 女性 46.2% (H30年保健事業アンケート)	男性 46.6% 女性 46.2% (H30年保健事業アンケート)	男性 46%以上 女性 46%以上
集団運動教室の参加者数			875人 (H26年度)	1,105人 (H30年度保健衛生)	274人 (R3年度)	1,100人以上
要介護認定者の出現率			18.45% (H26年度)	15.64% (H30年度)	16.80% (R3年度)	⇒基本的な目標の補完的数値目標へ

	市の評価項目	計画策定時	現状値(R2)	現状値(R3)	市の目標(R6)
基本方針 1 自らの健康は自らつくる					
(3) 健康的な生活習慣の推進	3歳でむし歯のない幼児の割合	85.1% (H26年度3歳児健診)	91.3% (R2年度3歳児健診)	92.3% (R3年度3歳児健診)	90%
	5歳(年長)でむし歯のない幼児の割合	77.1% (H26年度保育係データ)	80.5% (R2年度保育係データ)	85.7% (R3年度保育係データ)	77%以上
	12歳(中学1年生)でむし歯のない生徒の割合	男子 64.6% 女子 67.8% (H26年度学校保健統計調査)	男子 73.5% 女子 73.0% (R2年度学校保健統計調査)	男子 53.7% 女子 52.3% (R3年度学校保健統計調査)	70%
	歯肉の状態に異常がある児童・生徒の割合	小学生11.4% 中学生29.5% (H26年度学校保健統計調査)	小学生22.5% 中学生26.8% (R2年度学校保健統計調査)	小学生25.7% 中学生32.1% (R3年度学校保健統計調査)	小学生 14%以下 中学生 23%以下
	40歳における進行した歯周炎を有する者の割合(3ヵ年平均値)	53.9% (市歯周疾患健診) (H24～H26年度の平均値)	53.9% (市歯周病検診) (H30～R2年度の平均値)	41.3% (市歯周病検診) (H31～R3年度の平均値)	40%
	妊娠中の喫煙率	(8)すこやか親子へ			
	妊娠中の飲酒率				
	未成年者の喫煙率(「時々喫煙」、「毎日喫煙」と回答した者の割合)	中学1年 男子 2.0% 女子 0.7% (H26 健康保健課アンケート)	中学1年 男子 0% 女子 0% (H30年度健康保健課アンケート)	中学1年 男子 0% 女子 0% (H30年度健康保健課アンケート)	中学1年 男子 0% 女子 0%
	未成年者の飲酒割合(月1～2回以上の飲酒があると回答した者の割合)	中学1年 男子 3.9% 女子 1.4% (H26 健康保健課アンケート)	中学1年 男子 1.9% 女子 0% (H30年度健康保健課アンケート)	中学1年 男子 1.9% 女子 0% (H30年度健康保健課アンケート)	中学1年 男子 0% 女子 0%
	成人(40～74歳国保加入者)の喫煙率	男性 20.7% 女性 4.6% (H26年度特定健診)	男性 18.6% 女性 4.0% (H31年度特定健診)	男性 18.3% 女性 4.4% (R2年度特定健診)	男性 20%以下 女性 4%以下
	生活習慣病のリスクを高める飲酒をする(40～74歳国保加入者)割合(男性1日2合以上、女性1日1合以上の飲酒者)	男性 9.3% 女性 4.8% (H26年度特定健診)	男性 9.8% 女性 4.8% (H31年度特定健診)	男性 8.1% 女性 5.1% (R2年度特定健診)	男性 9%以下 女性 5%以下
(4) こころの健康づくり	自殺死亡 標準化死亡比(5ヵ年の平均値)	男性 81 女性 69 (H20年～H24年の平均値)			99以下
	産後うつ傾向にある母親(EPDS9点以上)の割合	15.0% (H26年度新生児訪問データ)	8.1% (R2年度新生児訪問データ)	4.3% (R3年度新生児訪問データ)	10%以下
	子育てについて相談できる友人や場がないと感じる親	3.7% (H26年度新生児訪問データ)	7.6% (R2年度新生児訪問データ)	3.8% (R3年度新生児訪問データ)	4.5%以下
	睡眠の状況に満足している者の割合	80.1% (H26年度こころの健康づくりアンケート調査)	73.6% (H30年保健事業アンケート)	73.6% (H30年保健事業アンケート)	81.0%以上
	ストレスが過度であると感じている者の割合	男性 8.4% 女性 15.2% (H26年度こころの健康づくりアンケート調査)	男性 13.0% 女性 17.3% (H30年保健事業アンケート)	男性 13.0% 女性 17.3% (H30年保健事業アンケート)	男性 13.7%以下 女性 17.0%以下
	ストレスがあると感じている者の割合	男性 38.1% 女性 45.3% (H26年度こころの健康づくりアンケート調査)	男性 48.6% 女性 54.8% (H30年保健事業アンケート)	男性 48.6% 女性 54.8% (H30年保健事業アンケート)	男性 48.5%以下 女性 54.5%以下
	自分にあったストレスの対処法を知り、実践している者の割合	男性 77.0% 女性 70.3% (H26年度こころの健康づくりアンケート調査)	男性 76.4% 女性 77.0% (H30年保健事業アンケート)	男性 76.4% 女性 77.0% (H30年保健事業アンケート)	男性 78.0以上 女性 78.0以上
	ゲートキーパー人材育成講座修了者の、こころの相談に関わった者の割合	71% (H26年度ゲートキーパー教育後の活動に関する基礎調査)	45.7% (H30年度ゲートキーパー教育後の活動に関する基礎調査)	45.7% (H30年度ゲートキーパー教育後の活動に関する基礎調査)	⇒「東御市自殺対策計画」に設定
	こころの健康について不安がとてもある者の割合	4.3% (H26年度こころの健康づくりアンケート調査)	9.0% (H30年保健事業アンケート)	9.0% (H30年保健事業アンケート)	9.0%以下

	市の評価項目	計画策定時	中間評価値	現状値(R3)	市の目標(R6)
基本方針 1 自らの健康は自らつくる					
(5)生活習慣病の発症予防・重症化予防(循環器疾患)	特定健康診査受診率	44.0% (H26年度確定値)	46.3% (H29年度確定値)	40.8% (R2年度確定値)	50%以上
	特定保健指導実施率	59.1% (H26年度確定値)	66.3% (H29年度確定値)	60.3% (R2年度確定値)	66.3%以上
	正常高値血圧以上(40～74歳国保加入者)の割合	男性 51.4% 女性 38.5% (H25年度特定健診法定報告)	男性 43.8% 女性 38.0% (H29年度特定健診法定報告)	男性 51.0% 女性 46.4% (R2年度特定健診法定報告)	男性 43%以下 女性 38%以下
	Ⅱ度高血圧以上(40～74歳国保加入者)の割合	男性 6.1% 女性 4.6% (H25年度特定健診法定報告)	男性 4.3% 女性 2.9% (H29年度特定健診法定報告)	男性 6.7% 女性 6.1% (R2年度特定健診法定報告)	男性 4.3%以下 女性 2.9%以下
	脂質異常症(LDLコレステロール160mg/dl以上)(40～74歳国保加入者)の割合	男性 10.1% 女性 14.3% (H25年度特定健診法定報告)	男性 7.8% 女性 12.4% (H29年度特定健診法定報告)	男性 10.6% 女性 12.6% (R2年度特定健診法定報告)	男性 7.5%以下 女性 10%以下
	メタボリックシンドローム該当者(40～74歳国保加入者)の割合	男性 32.8% 女性 10.0% (H25年度特定健診法定報告)	男性 30.7% 女性 11.3% (H29年度特定健診法定報告)	男性 31.3% 女性 12.2% (R2年度特定健診法定報告)	男性 30%以下 女性 10%以下
	メタボリックシンドローム予備群(40～74歳国保加入者)の割合	男性 15.7% 女性 6.5% (H25年度特定健診法定報告)	男性 16.8% 女性 6.3% (H29年度特定健診法定報告)	男性 15.7% 女性 5.3% (R2年度特定健診法定報告)	男性 15%以下 女性 6%以下
	新規介護保険2号被保険認定者のうち、生活習慣病を起因とする認定の割合(4カ年の平均値)	43.5% (H23～H26年度の平均値)	45% (H27～30年度の平均値)	100% (R3年度)	43%以下
	65歳未満の死亡者のうち、脳・心疾患原因による割合(4カ年平均)	男性 22.9% 女性 19.0% (H23～H26年の平均値)	男性 25.2% 女性 15.2% (H27～30年の平均値)	男性 29.4% 女性 6.7% (R2年)	男性 22%以下 女性 19%以下
	65歳未満の死亡者のうち、脳・心疾患原因による割合(4カ年平均)	男性 22.9% 女性 19.0% (H23～H26年の平均値)	男性 25.2% 女性 15.2% (H27～30年の平均値)	男性 29.4% 女性 6.7% (R2年)	男性 22%以下 女性 19%以下
(糖尿病)	HbA1c値6.5%以上(40～74歳国保加入者)の割合	男性 12.6% 女性 5.7% (H25年度特定健診法定報告)	男性 13.0% 女性 7.0% (H29年度特定健診法定報告)	男性 12.1% 女性 7.2% (R2年度特定健診法定報告)	男性 12%以下 女性 5%以下
	HbA1c8.4%以上(40～74歳国保加入者)の割合	男性 1.3% 女性 0.5% (H25年度特定健診法定報告)	男性 0.6% 女性 0.7% (H29年度特定健診法定報告)	男性 0.3% 女性 0.2% (R2年度特定健診法定報告)	男性 1.3%以下 女性 0.5%以下
	糖尿病性腎症による新規人工透析者数(障がい者手帳取得者のうち4カ年の平均値)	3.3人 (H23～H26年度の平均値)	2.6人 (H27～H30年度の平均値)		2.0人以下
(がん)	がん検診受診率	胃がん 62.2% 肺がん 60.8% 大腸がん 56.6% 子宮頸がん 55.0% 乳がん 48.1% 前立腺がん 47.2% (H25年度保健事業アンケート)	胃がん 52.3% 肺がん 58.4% 大腸がん 56.6% 子宮頸がん 55.0% 乳がん 36.6% 前立腺がん 43.7% (H30年度保健事業についてのアンケート)	胃がん 52.3% 肺がん 58.4% 大腸がん 56.6% 子宮頸がん 55.0% 乳がん 36.6% 前立腺がん 43.7% (H30年度保健事業アンケート)	胃がん63%以上 肺がん61%以上 大腸がん57%以上 子宮頸がん55.0%以上 乳がん50%以上
	がん検診精密検査の受診率 (胃・肺・大腸・乳・子宮頸がん検診精密検査受診率の平均値)	74.4% (H26年度保健衛生)	86.5% (H30年度市保健衛生)	76.8% (R3年度市保健衛生)	90%以上

	市の評価項目	計画策定時	中間評価値	現状値(R3)	市の目標(R6)
基本方針 2 食育の推進					
(6) 健全な食生活のための食育	朝食を食べている幼児の割合		3歳児 100% (H30年度乳幼児健診)	3歳児 99.5% (R3年度乳幼児健診)	3歳児 100%
	朝食を食べている園児の割合		5歳 97.9% (H30年度保育園調査)	5歳児 96.0% (R3年度保育園調査)	5歳 98%以上
	朝食を園児と一緒に食べる保護者の割合		5歳 84.5% (H30年度保育園調査)	5歳児 85.7% (R3年度保育園調査)	5歳 84.5%以上
	朝食を欠食する児童・生徒の割合		小学6年生 4.7% 中学3年生 5.7% (H30年度全国学力・学習状況調査)	小学校6年生 0.4% 中学校3年生 2.0% (R3年度全国学力・学習状況調査)	小学6年生 4%以下 中学3年生 5%以下
	家族や友人等2人以上での食事を楽しんでいる者の割合	小学5年生 89.3% 中学2年生 73.1% (H25年度学校栄養士会アンケート「児童生徒の食に関する実態調査」)	9% 小学5年生 92. 6% 中学2年生 91. (H28年度学校栄養士会アンケート「児童生徒の食に関する実態調査」)	小学5年生 86.6% 中学2年生 86.5% (R元年度学校栄養士会アンケート「児童生徒の食に関する実態調査」)	小学5年生 90%以上 中学2年生 90%以上
	「バランスのとれた食生活」をいつも心がけている者の割合	47% (H25年度保健事業アンケート)	43% (H30年度保健事業アンケート)	43% (H30年度保健事業アンケート)	47%以上
基本方針 3 健康を支える環境づくり					
(8) すこやか親子の推進	全出生数中の低出生体重児の割合	8.5% (H26年出生届より)	9.0% (H30年出生届より)	10.3% (R3年出生届より)	9.5%以下
	妊娠11週以下での妊娠届出率	92.4% (H26年度妊娠届より)	96.3% (H30年度妊娠届より)	94.3% (R3年度妊娠届より)	95.5%以上
	妊娠中の喫煙率	3.1% (H26年度新生児訪問データ)	3.0% (H30年度新生児訪問データ)	2.2% (R3年度新生児訪問データ)	0%
	妊娠中の飲酒率	0.9% (H26年度新生児訪問データ)	0% (H30年度新生児訪問データ)	0% (R3年度新生児訪問データ)	0%
	両親学級初産婦参加率	42.9% (H26年度市保健衛生)	45.7% (H30年度市保健衛生)	46.2% (R3年度市保健衛生)	50%以上
	妊婦訪問の実施率		93.0% (H30年度市保健衛生)	83.3% (R3年度市保健衛生)	93%以上
	乳幼児家庭訪問(新生児訪問)実施率	98.7% (H26年度新生児訪問データ)	97.9% (H30 新生児訪問データ)	92.4% (R3年度新生児訪問データ)	98%以上
	産後うつ傾向にある母親(EPDS 9点以上)の割合	15.0% (H26年度新生児訪問データ)	9.4% (H30年度新生児訪問データ)	4.3% (R3年度新生児訪問データ)	⇒(4)こころの健康づくりへ
(8) すこやか親子の推進	乳幼児健康診査の受診率	4か月 97.4% 10か月 94.6% 1歳6か月児 96.0% 2歳児 90.7% 3歳児 98.0% (H26年度市保健衛生)	4か月 97.7% 10か月 96.4% 1歳6か月児 98.2% 2歳児 94.2% 3歳児 97.4% (H30)	4か月 100.5% 10か月 96.3% 1歳6か月児 94.3% 2歳児 86.6% 3歳児 96.7% (R3年度)	4か月 97%以上 10か月 96%以上 1歳6か月児 98%以上 2歳児 94%以上 3歳児 98%以上
	早寝(21時前就寝)早起き(7時前起床)の生活リズムをしている親の割合	1歳6か月 早寝 41.0% 早起き 49.3% 3歳 早寝 30.4% 早起き 53.4% (H26年度乳幼児健診)	1歳6か月 早寝 38.0% 早起き 48.1% 3歳 早寝 15.7% 早起き 53.4% (H30年度乳幼児健診)	1歳6か月 早寝 34.8% 早起き 53.5% 3歳 早寝 20.3% 早起き 50.7% (R3年度乳幼児健診)	1歳6か月 早寝 40%以上 早起き 50%以上 3歳 早寝 30%以上 早起き 55%以上
	育児が楽しいと思える(まあまあ含)親の割合	1歳6か月 72.3% (H26年度乳幼児健診)	1歳6か月 94.0% (H30年度乳幼児健診)	1歳6か月 96.9% (R3年度乳幼児健診)	1歳6か月 94%以上
	家庭で子育てについて常に話し合っている家庭の割合	1歳6か月 95.5% (H26年度乳幼児健診)	1歳6か月 97.2% (H30年度乳幼児健診)	1歳6か月 99.5% (R3年度乳幼児健診)	1歳6か月 97%以上
	子育てについて相談できる友人や場が無いと感じる親の割合	3.7% (H26年度新生児訪問データ)	4.9% (H30年度新生児訪問データ)	3.8% (R3年度新生児訪問データ)	⇒(4)こころの健康づくりへ
	安心して医療につながると感じる親の割合	1歳6か月 95.3% (H26年度乳幼児健診)	1歳6か月 88.4% (H30年度乳幼児健診)	1歳6か月 94.9% (R3年度乳幼児健診)	1歳6か月 95%以上
	安心して子育てができる地域だと感じる親の割合	1歳6か月 97.5% (H26年度乳幼児健診)	1歳6か月 96.7% (H30年度乳幼児健診)	1歳6か月 94.4% (R2年度乳幼児健診)	1歳6か月 97%以上

	市の評価項目	計画策定時	中間評価値	現状値(R3)	市の目標(R6)
(9) 感染症対策	BCG接種率	86. 7% (H26年度)	92. 1% (H30 市保健衛生)	95. 4% (R3年度)	95%以上
	麻しん風しん混合ワクチン第1期予防接種率	74. 1% (H26年度保健衛生)	93. 7% (H30年度保健衛生)	82. 2% (R3年度)	95%以上
	麻しん風しん混合ワクチン第2期予防接種率	94. 3% (H26年度保健衛生)	93. 6% (H30年度保健衛生)	93. 4% (R3年度)	100%
	胸部レントゲン受診率	24% (H26年度保健衛生)	31. 3% (H30年度保健衛生)	30. 5% (R3年度)	30%以上
	胸部レントゲン検診精密検査受診率	77. 8% (H26年度保健衛生)	56. 4% (H30年度保健衛生)	61. 9% (R3年度)	100%
(1 0) 地域保健の充実	保健補導員による受診勧奨世帯数	6, 467世帯 (H26 各種検診申込書回収世帯数)	5, 775世帯 (H30 各種検診申込書回収世帯数)	⇒地域で健康づくりに取り組む評価項目とするため設定しない	
	保健補導員により地域ごとの健康づくり事業を実施している区	29区 (H31年度健康保健課調査)		29区 (H31年度健康保健課調査)	29区以上
	近所の人と助け合う気持ちがある(非常にある～まあある)者の割合	69. 3% (H25年度地域のつながりに関する基礎調査より)	81. 9% (H30年保健事業アンケート)	81. 9% (H30年保健事業アンケート)	82%以上

6. 第2期東御市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）

評価項目（進捗状況）

平成29年度第2期東御市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）を定め、令和3年3月には中間評価を行いました。生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進、糖尿病等の発症や重症化予防等の保健事業の実施及び評価を行うものとします。

なお、本市で策定する「第2次東御市健康づくり計画後期計画 健康とうみ21」で用いた評価指標を用いるなど、整合性を図っています。

（1）成果目標

今計画の目的は、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症の死亡を減らし、健康寿命を延伸させることです。

（ア）中長期的な目標の設定

虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症を減らしていくことを目標としますが、早世予防の観点から、65歳未満の死亡原因のうち心疾患、脳血管疾患をはじめとする生活習慣病による死亡を減少させることを目指します。

中長期的な目標：虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症の減少を目指す。

評価項目	第2期計画現状値 (H29年度)	現状値 (R3年度)	目標	備考
65歳未満の死亡者のうち、脳血管疾患・心疾患による割合	21.6% 男性 25.8% 女性 13.9% (H26～H28の平均)	18.8% 男性 15.6% 女性 3.1%	男性 22%以下 女性 19%以下	死亡者の割合の平均 (保健衛生・65歳未満死亡者)
糖尿病性腎症による新規人工透析者数	2.0人 (H26～H28の平均)	5人 (R2年度)	2.0人以下	(福祉課福祉援護係障がい者手帳取得者のうちの平均人数)

(イ) 短期的な目標の設定

基本的には、第2次東御市健康づくり計画後期計画「健康とうみ21」に準ずることとします。

短期的な目標：特定健診の検査項目について、危険因子の減少のため、数値の改善を目指す。

評価項目	第2期計画現状値 (H29年度)	現状値 (R3年度)	目標値	備考
特定健診受診率	44.5% (H28年度法定報告)	40.8% (R2年度確定値)	50%以上	市総合計画に基づく
特定保健指導実施率	65.0% (H28年度法定報告)	60.3% (R2年度確定値)	66.3%以上	市総合計画に基づく
メタボリックシンドロームの該当者	該当者 19.0% (451人) 男性：28.2% 女性：11.4%	該当者 20.7% (415人) 男性：31.3% 女性：12.2%	男性 30%以下 女性 10%以下	
メタボリックシンドローム予備群の割合	予備群 11.2% (226人) 男性：18.3% 女性：5.3% (H28年度法定報告)	予備群 9.9% (199人) 男性：15.7% 女性：5.3% (R2年度法定報告)	男性 15%以下 女性 6%以下	
Ⅱ度以上高血圧以上の者の割合	3.5% (83人) 男性：4.0% 女性：3.1% (H28年度法定報告)	6.5% (127人) 男性：6.7% 女性：6.1% (R2年度法定報告)	男性 4.3%以下 女性 2.9%以下	
HbA1c 値 8.4%以上の者の割合	0.8% (19人) 男性：0.9% 女性：0.7% (H28年度法定報告)	0.5% (11人) 男性：0.3% 女性：0.2% (R2年度法定報告)	男性 1.3%以下 女性 0.5%以下	
HbA1c 値 6.5%以上の者の割合	9.8% (233人) 男性：12.8% 女性：7.3% (H28年度法定報告)	9.4% (188人) 男性：12.1% 女性：7.2% (R2年度法定報告)	男性 12%以下 女性 5%以下	
HbA1c 値 5.6%以上の者の割合	74.0% (1,757人) 男性：74.5% 女性：73.6% (H28年度法定報告)	62.1% (1,332人) 男性：69.1% 女性：67.4% (R2年度法定報告)	減少	
LDL コレステロール 160mg/dl以上の者の割合	9.4% (222人) 男性：6.5% 女性：11.7% (H28年度法定報告)	11.7% (235人) 男性：10.6% 女性：12.6% (R2年度法定報告)	減少	



長野県 PR キャラクター「アルクマ」

©長野県アルクマ

令和3年度東御市保健衛生

令和4年7月発行

〒389-0502

長野県東御市鞍掛 197 総合福祉センター内
東御市 健康福祉部 健康保健課